

CICS Transaction Server for z/OS



CICSplex SM モニター・ビュー・リファレンス

バージョン 5 リリース 5

CICS Transaction Server for z/OS



CICSplex SM モニター・ビュー・リファレンス

バージョン 5 リリース 5

注記

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、 67 ページの『特記事項』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM CICS Transaction Server for z/OS バージョン 5 リリース 5 (製品番号 5655-Y04) および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： CICS Transaction Server for z/OS
CICSplex SM Monitor Views Reference
Version 5 Release 5

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 1994, 2018.

目次

この PDF について	v
-----------------------	---

第 1 章 CICS リソースのモニター	1
--------------------------------	---

第 2 章 CPSM モニター・ビュー	3
-------------------------------	---

アクティブ・モニターの仕様 - POLMON	3
CICS 領域モニター・ビュー	4
DSA のモニター・データ - MCICSDSA	4
CICS 領域 - MCICSRGN	6
トランザクション・クラス - MTRANCLS	11
接続モニター・ビュー	13
ISC/MRO 接続 - MCONNECT	13
LU 6.2 モード名 - MMODNAME	16
DB2 モニター・ビュー	17
スレッド - MDB2THRD	17
FEPI モニター・ビュー	19
接続 - MFEPICON	20
ファイル・モニター・ビュー	21
管理対象データ・テーブル - MCMDT	21
ローカル・ファイル - MLOCFILE	25
リモート・ファイル - MREMFIL	27
グローバル・リソース・モニター・ビュー	29
LSR プール・バッファ - MLSRPBUF	29
LSR プール - MLSRPOOL	30
区画内一時データ・キュー - MTDQGBL	33

一時記憶域 - MTSQGBL	35
ジャーナル・モニター・ビュー	38
ジャーナル - MJRNLNAM	39
プログラム・モニター・ビュー	40
プログラム - MPROGRAM	40
一時記憶域キュー・モニター・ビュー	42
一時記憶域 - MTSQGBL	42
端末モニター・ビュー	45
端末 - MTERMNL	45
トランザクション・モニター・ビュー	47
ローカルまたは動的 - MLOCTRAN	47
リモート - MREMTRAN	58
一時データ・キュー・モニター・ビュー	60
間接 - MINDTDQ	60
区画内 - MNTRATDQ	61
リモート - MREMTDQ	62
区画外 - MXTRATDQ	63

第 3 章 ヒストリー・ビュー	65
---------------------------	----

タスク・ヒストリー・コレクション - MASHIST	65
--------------------------------------	----

特記事項	67
----------------	----

索引	73
--------------	----

この PDF について

この PDF は、複数の CICS システムをモニターおよび制御するために使用できる CICSplex[®] SM WUI ビューのリファレンスです。

WUI ビューは、CICS[®] リソースを制御するために使用する一連の操作ビュー と、これらの操作ビューとほぼ一致するリソースのモニター用のモニター・ビュー、そして CICSplex でアクティブになっている CICSplex SM 定義を管理するために使用する定義ビュー などからなります。

モニター・ビューおよびヒストリー・ビューのコマンドについては、この PDF で説明しています。

操作ビューのコマンドについては、*CICSplex SM Operations Views Reference*で説明しています。

CICSplex SM 定義については、以下の資料を参照してください。

- *CICSplex SM Managing Workloads*
- *CICSplex SM Managing Resource Use*
- *CICSplex SM Managing Business Applications*

WUI のビューには、EYUSTARTobject という名前が付いています。ここで、*object* は管理対象リソースの名前です。CICSplex SM WUI の使用に関するガイドラインは、*CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース・ガイド*に記載されています。CICSplex SM 環境の CMAS 構成およびトポロジーを定義するために使用するビューについては、*CICSplex SM Administration*で説明されています。

本書で使用している用語や表記の詳細については、IBM Knowledge Center のCICS 資料で使用されている表記規則および用語を参照してください。

この PDF の日付

この PDF の作成日は 2018 年 12 月 14 日です。

第 1 章 CICS リソースのモニター

CICSplex SM モニター・ビューは、リソースのモニターが要求されている CICS リソースの単一システム・イメージを提供します。

注:

1. モニター・データは、CICSplex SM によって現在モニターされているリソースについてのみ使用可能です。モニター対象のリソースの定義については、リソース・モニターの属性の定義を参照してください。
2. Windows の CICS を実行中のシステムの場合、モニター・データは使用できません。

モニター・ビューは、以下の 2 つのタイプの情報を提供します。

- CICS COLLECT STATISTICS データ
- CICSplex SM 派生データ

派生データ とは、CICSplex SM が CICS 統計を処理してレート、平均、およびパーセンテージを生成した結果です。これらの値は、以下の 2 つの異なる期間の値として報告されます。

- サンプル間隔。リソースのデータが収集される期間です。リソース・モニターをセットアップする際に、サンプル間隔でデータを収集する頻度を指定します。モニターが開始されると、最初の完全なサンプル間隔の終了時にデータが表示されます。
- モニター間隔。サンプル間隔からのデータを累積および平均する期間です。モニター間隔の終了時に、CICSplex SM 統計カウンターは自動的にリセットされます。

モニター・ビューの派生値は、以下のいずれかで始まるフィールド名の下に表示されます。

CS または CURR

現在のサンプル。この値は、最後のサンプル間隔中に収集されたデータを反映します。

MI または INTV

モニター間隔。この値は、モニター間隔でこれまでに累積されたデータを反映します。

CICSplex SM は、そのコマンドの多くにおいて総称名の使用をサポートします。例えば、名前が文字「DNW」で始まるすべてのトランザクションが 300 秒ごとに 1 度モニターされるように指定できます。各トランザクションを個別に指定する必要はありません。

総称名の使用に適用される規則は、以下のとおりです。

- 1 つ以上の文字の代わりにアスタリスク文字 (*) を使用できます。この文字は、名前の中で 1 度だけ使用でき、部分的なストリングの末尾で使用する必要があります。例えばストリング「DNW*」は、文字 DNW で始まるすべての名前という意味です。

- 任意の単一文字を正符号 (+) に置き換えることができ、名前の任意の位置で使用できます。例えば「DNW+++L」は、文字 DNW で始まり文字 L で終わる 7 文字の任意の名前という意味です。

CICS リリースでの可用性

一部のビュー、アクション、またはフィールドは、サポートされているすべての CICS リリースで使用可能なわけではありません。可用性の情報は、ビュー、アクション・コマンド、およびフィールドに関するオンライン・ヘルプでも提供しています。

ビューを表示するときに、そのビューを使用できない CICS リリースを実行中のシステムが CICSplex に組み込まれている場合、そのビューに、これらのシステムは表示されません。CICS システムが実行中の CICS リリースでは使用できないアクションまたはフィールドをクリックすると、以下のメッセージが表示されます。

```
EYUEI0596E  Action 'action name' for 'sysname' not supported for  
            this release of CICS
```

ここで、

アクション名

アクション名またはフィールド名です。

sysname

操作を試行した対象の CICS システムです。

第 2 章 CPSM モニター・ビュー

アクティブ・モニターの仕様 - POLMON

アクティブ・モニターの仕様 (POLMON) ビューは、現行コンテキストとして識別される CICSplex に認識される CICS システムにインストールされたモニター仕様に関する情報を表示します。

提供されるビュー

提供されている POLMON ビューはありません。

アクション

表 1. POLMON ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DEACTIVATE	時間枠が定義されているアクティブ・モニターの仕様を非活動化します。 定義の状況は「保留」に変更されます。
DISCARD	アクティブまたは保留になっているモニター定義を、それがインストールされている CICS システムから破棄します。

フィールド

表 2. POLMON ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
活動期間	ACTIVETIME	モニター仕様がアクティブになる時間枠。 このフィールドがblankの場合は、モニター仕様がインストールされている CICS システムが稼働している限り、そのモニター仕様はアクティブのままです。
インクルード状況のモニター	INCLUDE	リソース名およびタイプ・フィールドで識別されるリソースが CICSplex SM モニターに含められるか除外されるかを示します。
定義名	NAME	モニター定義の名前。
リソース・クラスのモニター	RESCCLASS	モニター・リソース・クラス。 オプションは次のとおり: MCICS、MCONN、MGLBL、MDBX、MFILE、MJRNL、MPROG、MTDQS、MTERM、MTRAN。
リソース名のパターン	RESNAME	モニター定義が適用されるリソース (複数の場合あり) の名前。 アスタリスク (*) または正符号 (+) を含む名前は総称名で、複数のリソースを表す場合があります。
リソース状況ファシリティのモニター状況	RODMPOP	リソース名およびタイプ・フィールドで識別されるリソースが、リソース状況ファシリティで識別され、モニターされるかどうかを示します。 入力値: YES NO
定義状況	STATUS	定義がアクティブか保留中かを示します。

CICS 領域モニター・ビュー

「CICS 領域モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の CICS システムに関する情報が表示されます。 注: このモニター・データは、CICSplex SM によりモニターされる CICS システムにのみ使用可能です。 MTRNCLS ビューの情報は、グローバル・リソースがモニターされる CICS システムにのみ使用可能です。

DSA のモニター・データ - MCICSDSA

「モニター動的ストレージ域」(MCICSDSA) ビューには、モニター対象の CICS システム内の動的ストレージ域 (DSA) に関する一般情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > **CICS 領域モニター・ビュー** > **DSA のモニター・データ**

表 3. 提供されている「**DSA のモニター・データ**」(MCICSDSA) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
DSA のモニター・データ EYUSTARTMCICSDSA.DETAILED	選択した動的ストレージ域に関する詳細情報
DSA のモニター・データ EYUSTARTMCICSDSA.DISCARD	現行サンプル間隔でモニターから DSA を除去し、その累積統計を破棄します。
DSA のモニター・データ EYUSTARTMCICSDSA.RESET	すべてのモニター・インスタンス属性をリセットします。
DSA のモニター・データ EYUSTARTMCICSDSA.TABULAR	各モニター対象 CICS システムでの動的ストレージ域 (DSA) に関するテーブル形式の情報

アクション

表 4. MCICSDSA ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル間隔でモニターから DSA を除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	すべてのモニター・インスタンス属性をリセットします。

フィールド

表 5. MCICSDSA ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
ストレージ・キー	ACCESSTYPE	この動的ストレージ域のアクセスのタイプ (CICS、USER、または READONLY)。ストレージ保護がアクティブではない場合、ERDSA 内のストレージ域を除くすべてのストレージ域のアクセス・タイプは CICS になります。
サブプールの追加要求数	ASUBTOTL	この動的ストレージ域からドメインまたはタスク・サブプールを作成する要求の数。

表 5. MCICSDSA ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
共通サブスペース・ユーザーの累計数	CUMCMNSSUSRS	共通サブスペース・ユーザーの累計数。
固有サブスペース・ユーザーの累計数	CUMUNQSSUSRS	この CICS の実行のための固有サブスペース・ユーザー要求の累計数。
共通サブスペース・ユーザーの現行数	CURCMNSSUSRS	共通サブスペース・ユーザー要求の現在の数。
現行サンプルのフリー・ストレージ (%)	CURFRESTG	最後のサンプル期間中の、この動的ストレージ域でのフリー・ストレージのパーセンテージ。このフィールドは GCDSA には適用されません。
16MB 境界以上 / 以下で割り振られた現在の DSA	CURRALLOC	現在の DSA サイズ (バイト単位で表される)。
固有サブスペースに割り振られた現在のタスク数	CURUNQSSUSRS	固有のサブスペース・ユーザー要求の現在の数。
クッション・サイズ	CUSHION	この動的ストレージ域のクッションのサイズ (バイト単位)。クッションとは、それを下回ると CICS がストレージ不足になるストレージ量のことです。
サブプールの削除要求数	DSUBTOTL	この動的ストレージ域からドメインまたはタスク・サブプールを削除する要求の数。
FREEMAIN 要求数	FREMTOTL	この動的ストレージ域からの FREEMAIN 要求の数。
GETMAIN 要求数	GETMTOTL	この動的ストレージ域からの GETMAIN 要求数。
16M 境界以上 / 以下で割り振られたピークの DSA	HWMALLOC	このサブプールのストレージ要件をサポートするために割り当てられるピーク・ページ・ストレージを含みます。
共通サブスペース・ユーザーのピーク数	HWMCMNSSUSRS	任意の一時点に行われた共通サブスペース・ユーザー要求の最大数。
使用可能フリー・ストレージのピーク・サイズ	HWMFREE	この CICS 実行用に空いていたストレージの最大容量。このフィールドは GCDSA には適用されません。
固有サブスペース・ユーザーのピーク数	HWMUNQSSUSRS	任意の一時点に行われた固有のサブスペース・ユーザー要求の最大数。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔のフリー・ストレージ (%)	INTFRESTG	モニター・インターバルにおけるこの動的ストレージ域でのフリー・ストレージの平均パーセンテージ。このフィールドは GCDSA には適用されません。
DSA の最大サイズ	LIMIT	バイト総数で示したストレージの最大容量。その範囲内で、CICS は 16 M 境界より下にある個々の 4 つの DSA にストレージを動的に割り振ることができます。
動的ストレージ域 (DSA) の位置	LOCATION	この動的ストレージ域が 16 MB 境界より上と下の、どちらにあるかを示します。GCDSA の場合、この値は NOTAPPLIC です。
使用可能フリー・ストレージの最小サイズ	LWMFREE	この CICS 実行用に空いていたストレージの最小容量。このフィールドは GCDSA には適用されません。
動的ストレージ域 (DSA)	NAME	動的ストレージ域の名前。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • CDSA、UDSA、ECDSA、EUDSA、ERDSA • RDSA、SDSA、ESDSA、GCDSA
NOSTORAGE が戻された回数	NSTGTOTL	SUSPEND(NO) を指定した GETMAIN 要求がストレージ不足状態を返した回数。
現在一時停止中のストレージ要求数	NSTGTSUSP	ストレージ不足のために現在一時停止されている GETMAIN 要求数。
使用可能合計ストレージのパーセント	PCTFREE	DSA の合計スペースの使用可能パーセント。この値は、DSA または EDSA 制限サイズ値から計算されます。
不使用プログラムが占有するストレージ	PGMONIU	この動的ストレージ域内で、不使用 (NIU) プログラムによって占められているストレージ量。

表 5. MCICSDSA ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
使用可能プール・ストレージのパーセント	POOLPCTFREE	16 M 境界を超えた、または 16 M 未満で割り振られたすべての DSA プールからの使用可能なスペース。
MVS ストレージ待ちの原因となった要求数	REQSWAITMVS	待機の原因となった MVS ストレージの要求数。
再入可能プログラム保護状況	RNTPGPROTECT	CICS のこの実行に対して再入可能プログラム保護が選択されたかどうかを指定します。これにより CICS ロード済みプログラムは直接書き込みを受けないよう保護されます。
DSA サイズ	SIZE	動的ストレージ域のサイズ (バイト単位)。
クッションの解放回数	STGCRELC	GETMAIN 要求によってストレージ・クッションがリリースされる回数。クッションは、フリー・ページ数が、クッション内のページ数を下回った時点で、解放されたと見なされます。
フリー・ストレージ・サイズ	STGFSIZE	この動的ストレージ域内の、クッションを含めたフリー・ストレージ量。このフィールドは GCDSA には適用されません。
DSA のピーク・サイズ	STGHWL	DSA のピーク・サイズ。
最大フリー域サイズ	STGLSIZE	この動的ストレージ域内で最大の連続フリー域の長さ (バイト単位)。このフィールドは GCDSA には適用されません。
現行サブプール数	STGNSUBP	この動的ストレージ域内の現在のドメインまたはタスク・サブプール数。
ストレージ保護アクティブ	STGPROTECT	この CICS システムの実行に「ストレージ保護」オプションが選択されたかどうかを指定します。ストレージ保護がアクティブな場合、CICS ではシステム定義およびリソース定義で指定されたストレージおよび実行キーを監視します。
待機中にパージされたタスク数	STGPWCNT	ストレージ不足が原因で一時停止されていたときにパージされた GETMAIN 要求数。
一時停止中のストレージ要求のピーク数	STGSHWM	任意の一時時点で、ストレージ不足が原因で一時停止された GETMAIN 要求の最大数。
ストレージ不足カウント	STGSOSC	この動的ストレージ域で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。SOS は、クッションが現在使用中であるか、またはストレージのために少なくとも 1 つのタスクが一時停止していることのいずれかを意味します。
CICS がストレージ不足になった合計時間	STGSOST	この動的ストレージ域で CICS がストレージ不足 (SOS) になった回数。SOS とは、クッションが現在使用中であること、またはストレージのために一時停止中のタスクが少なくとも 1 つあること、あるいはその両方が生じていることを表します。
要求が一時停止された回数	STGSTOTL	ストレージ不足のために SUSPEND(YES) を指定した GETMAIN 要求が一時停止した回数。
ストレージの侵害回数	STGVTOTL	この動的ストレージ域で記録された記憶保護違反の数。
MVS ストレージ待ちの合計時間	TIMWAITMVS	この動的ストレージ域で CICS がストレージを待機した時間の合計。
トランザクション分離状況	TRNISOLATION	EXECKEY(USER) によって定義されたプログラムのストレージが、タスクの存続期間、その他の EXECKEY(USER) プログラムから保護されているかどうかを示します。

CICS 領域 - MCICSRGN

「CICS 領域のモニター・データ」(MCICSRGN) ビューには、モニター対象の CICS システムに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「CICS 領域モニター・ビュー」 > 「CICS 領域」

表 6. 提供されている「CICS 領域のモニター・データ」(MCICSRGN) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
CICS 領域のモニター・データ EYUSTARTMCICSRGN.DETAIL1	選択した CICS システムに関する詳細情報
CICS 領域のモニター・データ EYUSTARTMCICSRGN.DETAILED	選択した CICS システムに関する詳細情報
CICS 領域のモニター・データ EYUSTARTMCICSRGN.DISCARD	現行サンプル期間で CICSplex SM モニターから CICS システムを除去し、その累積統計を破棄します。
CICS 領域のモニター・データ EYUSTARTMCICSRGN.RESET	CICS システムに関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
CICS 領域のモニター・データ EYUSTARTMCICSRGN.TABULAR	モニター対象の CICS システムに関するテーブル形式の情報

アクション

表 7. MCICSRGN ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル期間で CICSplex SM モニターから CICS システムを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	CICS システムに関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 8. MCICSRGN ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
自動インストールの現行要求数	AINSCREQ	現在処理中の自動インストール要求数。
自動インストール要求の最大数	AINSMREQ	一時点でキューに入れることのできる自動インストール要求の最大数。
自動インストール使用可能状況	AINSSTAT	自動インストール処理の状況 (ENABLED または DISABLED)。
アクティブ・タスクの最大数	AMAXTASKS	アクティブ・タスクの最大数。
CICS 状況	CICSSTATUS	この CICS システムの現在の状況。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none">STARTUP - CICS システムは開始されています。ACTIVE - CICS システムはアクティブです。FIRSTQUIESCE - CICS システムは終了処理を開始しました。FINALQUIESCE - CICS システムは終了の最終段階にあります。
合計 CPU 使用時間	CPUTIME	現行モニター間隔の開始以降、この CICS システムが使用した合計 CPU 時間 (秒)。

表 8. MCICSRGN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
CICS Transaction Server レベル	CTSLEVEL	この CICS システムが実行している CICS Transaction Server のレベル。
現在アクティブなユーザー・トランザクション数	CURACTVUSRTR	現在トランザクション・クラスでアクティブなユーザー・トランザクション数。
現行サンプルの AMAX 比率	CURAMAXRATE	現行サンプルの AMAX 比率
前回サンプル期間中の CPU 使用	CURCPUPER	前回サンプル期間中の、この CICS システムによる CPU 使用比率。
現行サンプルのピーク AMAX 比率	CURPAMAXRATE	現行サンプルのピーク AMAX 比率。
現行サンプルのページイン比率	CURPGIRATE	前回サンプル期間中の、この CICS システムによるページイン要求比率。
現行サンプルのページアウト比率	CURPGORATE	前回サンプル期間中の、この CICS システムによるページアウト要求比率。
現行サンプルのピーク・タスク比率	CURPTSKRATE	現行サンプルのピーク・タスク比率。
現在キューに入れられているユーザー・トランザクション数	CURQUEDUSRTR	現在トランザクション・クラスのキューに入れられているユーザー・トランザクション数。
現在キューに入れられているトランザクションの待ち時間	CURQUETIME	現在トランザクション・クラスのキューに入れられているトランザクションが待機するのに費やした時間。
ディスパッチに適切な現在のユーザー・タスク数	CURRAMAX	ディスパッチングに適切な現在のユーザー・タスク数。
現在のタスク数	CURRTASKS	システム内のアクティブなタスク (すべてのシステムおよびユーザー・タスクを含む) の現行数。
現行サンプルの入出力開始比率	CURSIORATE	前回サンプル期間中の、この CICS システムによる入出力開始 (SIO) 要求比率。
現行サンプルのタスク比率	CURTASKRATE	前回サンプル期間中のシステムのタスク実行比率。
MVS タスク制御ブロック (TCB) 数	CUTCBCNT	この領域で CICS により接続されている MVS タスク制御ブロック (TCB) の数。
MVS ストレージ待ち時間の合計	DSGTOTMT	MVS ストレージ待機に費やされた合計時間。
MVS ストレージ待ちの合計数	DSGTOTMW	使用可能な TCB がなく、かつ MVS ストレージ制約が原因で TCB を作成できなかったために待機している MVS ストレージ要求の合計数。
外部セキュリティ・マネージャー・オプション	EXTSEC	外部セキュリティ・マネージャー (ESM) がこのシステムでアクティブであるかどうかを示します。
間隔の AMAX 比率	INTAMAXRATE	間隔の AMAX 比率。
モニター間隔における平均 CPU 使用	INTCPUPER	モニター間隔における、この CICS システムによる平均 CPU 使用比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔のピーク AMAX 比率	INTPAMAXRATE	現行間隔のピーク AMAX 比率。
モニター間隔のページイン比率	INTPGIRATE	モニター間隔における、この CICS システムによる平均ページイン要求比率。
モニター間隔のページアウト比率	INTPGORATE	モニター間隔における、この CICS システムによる平均ページアウト要求比率。
間隔のピーク・タスク比率	INTPTSKRATE	間隔のピーク・タスク比率。
モニター間隔の入出力開始比率	INTSIORATE	モニター間隔における、この CICS システムによる平均入出力開始 (SIO) 要求比率。
間隔のタスク比率	INTTASKRATE	モニター間隔におけるシステムの平均タスク実行比率。

表 8. MCICSRGN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
前回の CPSM 統計リセット後のトランザクション実行	INTVTRANS	前回の CPSM 統計リセット以降実行したタスク数。
領域間通信 (IRC) 状況	IRCSTAT	領域間通信 (IRC) 状況。OPEN、CLOSED、CLOSING、またはIMMCLOSING
ジョブ名	JOBNAME	この CICS システムの MVS ジョブ名。
前回統計リセット時刻	LASTRESET	統計フィールドが最後にリセットされた時刻。これは現地時間で表示されます。
一時停止タスクのピーク数到達回数	LOADHWMC	中断状態のタスク最大数に達した回数。
ロード要求待ちのピーク・タスク数	LOADHWMW	中断状態になって、ローダー・ドメイン要求が満たされるのを待機するタスクの一時点の最大数。
不使用キューにあるプログラム数	LOADPNIU	不使用 (NIU) キューにあるプログラム数。
ロード要求数	LOADREQS	DFHRPL ライブラリー連結から CICS 管理ストレージにプログラムをロードするためにローダーが MVS LOAD 要求を発行した回数。
不使用キューからの再利用回数	LOADRNIU	不使用 (NIU) キューから CICS が行った再利用回数。現在 NIU キューにあるプログラムに対して要求が発行されると、再利用が発生します。
合計ロード時間	LOADTIME	すべてのライブラリー・ロード要求にかかった時間。
不使用プログラムの削除に要する合計時間	LOADTNIU	すべてのプログラムが不使用 (NIU) キューで費やした合計時間数。
合計ロード待ち時間	LOADWAIT	ローダー・ドメイン要求が満たされるのを待機するのに、中断状態のタスクが費やした合計時間。
ロード要求待ちのタスク数	LOADWCNT	中断状態になって、ローダー・ドメイン要求が満たされるのを強制的に待機させられているタスクの合計数。
現在ログオンされている LU 数	LUCURR	現在のセッションの論理装置数。
一時点ログオン LU 最大数	LUHWM	一時点でのセッションの論理装置最高数。
アクティブ・タスク、一時停止タスク合計の最大数	MAXTASKS	システム内で同時に許可されている、アクティブおよび中断状態の両方のタスクの最大数。
MAXTASK 限度に達した回数	MAXTRCNT	MAXTASK 限度に達した回数。
バッチ処理される MRO 要求数	MROBATCH	接続システムからの MRO 要求をいくつバッチ処理した後に、このシステムに通知を送るか。
MVS システム ID	MVSSYSID	この CICS が実行している MVS システムのシステム ID。
z/OS レベル	OSLEVEL	この CICS システムが実行しているマシン上で実行している z/OS オペレーティング・システムのレベル。このフィールドが使用可能な CICS を実行していて、MVS レベルが z/OS よりも小さい場合、このフィールドにはブランクが表示されます。
ページイン要求数	PAGEIN	現行モニター間隔の開始以降、この CICS によって行われたページイン要求数。
ページアウト要求数	PAGEOUT	現行モニター間隔の開始以降、この CICS によって行われたページアウト要求数。
ディスパッチに適切なユーザー・タスクのピーク数	PEAKAMAX	一時点で同時にディスパッチングに適切なユーザー・タスク数のピーク値。
システム内のピーク・タスク数	PEAKTASKS	一時点でシステムに同時に存在するタスク数のピーク値。
アクティブなユーザー・トランザクションのピーク数	PEKACTVUSRTR	一時点でトランザクション・クラスでアクティブなユーザー・トランザクション最高数。

表 8. MCICSRGN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
キューに入れられたユーザー・トランザクションのピーク数	PEKQUEDUSRTR	一時点でトランザクション・クラスのキューに入れられるユーザー・トランザクション最高数。
最終リセット時刻	PLASTRESET	最終リセット時刻。これは現地時間で表示されます。
圧縮により削除されたプログラム数	PRGMRCMP	動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機構によってストレージから除去されたプログラム・インスタンス数。
CICS システムによるプログラムの使用回数	PRGMUCNT	この CICS システムによるプログラムの使用回数。
現在のローダー待ち要求数	PRGMWAIT	ローダー・ドメイン要求が満たされるのを待機する間に中断している現在のタスク数。
プログラムの自動インストール試行回数	PROGAUTOATTM	プログラムの自動インストール試行回数。
プログラムの自動インストール試行の失敗回数	PROGAUTOFAIL	プログラムの自動インストール要求の失敗回数。
プログラムの自動インストール要求が拒否された回数	PROGAUTOXREJ	自動インストール・プログラム要求が拒否された回数。
持続セッションのエラー件数	PRSSERRORCNT	CICS が復元しようとしたとき、既にアンバインド済みだった持続セッション合計数。
CICS 持続セッションの照会数	PRSSINQCNT	CICS が INQUIRE OPTCD=PERSESS を発行した合計回数。
持続した VTAM セッション数	PRSSNIBCNT	持続した VTAM セッション合計数。
正常に復元された持続セッション数	PRSSOPNCNT	正常に復元した持続セッションの合計数。
終了された持続セッション数	PRSSUNBNDCNT	終了した持続セッション数。
DFHRPL の再オープンおよびロード再試行の回数	RDEBRBLD	ローダーが LOAD 中にエクステント終了状態を受け取り、DFHRPL ライブラリーを正常にクローズして再オープンし、ロードを再試行した回数。
使用中の実記憶域	REALSTG	現在この CICS により使用中の実記憶域の 1 キロバイト単位のフレーム数。
CICS リリース	RELEASE	システムで実行する CICS のリリース。
システム・ダンプの抑止回数	SDMPSUPP	CICS またはユーザーによって要求され、以下のいずれかによって抑止されたシステム・ダンプの数。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー出口 ダンプ・テーブル グローバル・システム・ダンプ抑止
システム・ダンプ実施回数	SDMPTOTL	CICS の現行の実行中にシステム全体が取得したシステム・ダンプ数。
I/O 要求数	SIOREQ	現行モニター間隔の開始以降、この CICS によって行われた入出力開始 (SIO) 要求の数。
CICS 開始時刻	STRTTIME	ディスパッチャーが開始した時刻。これはこの CICS の実行が開始した概算時刻と見なすことができます。これは現地時間で表示されます。
システム・ダンプ状況	SYSDUMP	CICS システム・ダンプを取ることがグローバルに抑止されているかどうかを示します。
CICS システム ID	SYSID	この CICS システムのシステム ID。
トランザクション・ダンプの抑止回数	TDMPSUPP	CICS またはユーザーによって要求され、以下のいずれかによって抑止されたトランザクション・ダンプの数。 <ul style="list-style-type: none"> ユーザー出口 ダンプ・テーブル

表 8. MCICSRGN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
トランザクション・ダンプの実施回数	TDMPTOTL	CICS の現行の実行中にシステム全体が取得したトランザクション・ダンプ数。
アクティブなユーザー・トランザクションの合計数	TOTACTVUSRTR	トランザクション・クラスでアクティブなユーザー・トランザクションの合計数。
キューに入れられたユーザー・トランザクションの合計数	TOTDELYUSRTR	キューに入れられたユーザー・トランザクションの合計数。
合計タスク数	TOTLTASKS	CICS 実行開始以降システムで実行したタスク数。
キューに入れられたトランザクションの合計待ち時間	TOTQUETIME	トランザクション・クラスのキューに入れられたすべてのトランザクションが待機するのに費やした合計時間。
VTAM ACB の動的オープン回数	VTMACBDOPE	制御端末を通して VTAM アクセス制御ブロック (ACB) が開いた回数。VTAM が CICS より前に開始し、CICS 実行中にアクティブのままであれば、この値はゼロになります。
RPL 最大値に達した回数	VTMRPLMAX	RPL 通知値最大数に達した回数。
通知された VTAM RPL の最大数	VTMRPLPOST	端末管理の任意の 1 ディスパッチで VTAM により通知された、任意受け取り要求パラメーター・リスト (RPL) の最大数。
VTAM がストレージ不足状況になった回数	VTMSOSCNT	VTAM が一時的ストレージ不足状態になった回数。
CICS-VTAM 接続状況	VTMSTATUS	CICS と VTAM の間の接続の状況。

トランザクション・クラス - MTRANCLS

「トランザクション・クラスのモニター・データ」(MTRANCLS) ビューは、モニター対象 CICS システム内のトランザクション・クラスに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「CICS 領域モニター・ビュー」 > 「トランザクション・クラス」

表 9. 提供されている「トランザクション・クラスのモニター・データ」(MTRANCLS) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
トランザクション・クラスのモニター・データ EYUSTARTMTRANCLS.DETAILED	選択したトランザクション・クラスに関する詳細情報
トランザクション・クラスのモニター・データ EYUSTARTMTRANCLS.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクション・クラスを除去し、その累積統計を破棄します。
トランザクション・クラスのモニター・データ EYUSTARTMTRANCLS.RESET	トランザクション・クラスに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
トランザクション・クラスのモニター・データ EYUSTARTMTRANCLS.TABULAR	モニター対象 CICS システム内のトランザクション・クラスに関するテーブル形式の情報

アクション

表 10. MTRANCLS ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクション・クラスを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	トランザクション・クラスに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 11. MTRANCLS ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
キューに入った後受け入れのトランザクション数	ACCEPTAFTRQD	キューに入れられた後、実行することが許容されたトランザクションの数。
即時受け入れのトランザクション数	ACCEPTIMMED	即時に実行することが許容されているトランザクションの数。
クラス内で現在アクティブなトランザクション数	ACTIVE	クラス内で現在アクティブなトランザクションの総数。
アクティブなトランザクションのピーク数	ACTIVEPEAK	1 時点で、クラス内でアクティブなトランザクションの最高数。
合計 接続要求数	ATTACHES	接続要求の総数。
現行トランザクションがキューにある合計時間	CURQUEDTIME	このクラス内で現行トランザクションがキューに入れられていた合計時間。
インストールされたトランザクション定義数	INSTALLDEFS	現在インストールされているトランザクション定義の総数。
クラス内の最大許容トランザクション数	MAXACTIVE	クラス内で同時に実行することが許されているトランザクションの最大数。
トランザクション・クラス	NAME	8 文字のトランザクション・クラス名。
しきい値到達のためページされたトランザクション数	PURGEIMMED	定義されたしきい値に達したためにページされたトランザクションの数。
ページしきい値	PURGETHRESH	キューに入れて最初のディスパッチを待機させることができる、このクラス内のトランザクションの最大数。キューがその PURGETHRESH 限度に達しているときに、発生したこのクラスのトランザクションはページされます。 キューのサイズが無制限の場合 (タスク生成に使用可能なストレージによるものを除く)、 NO が表示されます。
キューにある間にページされたトランザクション数	PURGEWHILEQD	このクラス内でキューに入れられている間にページされたトランザクションの数。
ページしきい値到達回数	PURGTHRTIMES	ページしきい値に達した回数。
現在キューにあるトランザクション数	QUEUED	現在キューの中で最初のディスパッチを待機しているトランザクションの数。キューイングは、アクティブ・タスク数が既に最大値になっているか、あるいは、システムにとっても最大値に到達しているか、いずれかの理由で発生します。
キューに入れられたトランザクションのピーク数	QUEUEDPEAK	1 時点で、このクラス内でキューに入れられたトランザクションの最高数。
キューに入れられたトランザクションの合計時間	QUEUETIME	このクラス内でトランザクションがキューに入れられていた合計時間。
最大アクティブ・トランザクション数到達回数	TIMESATMAX	このトランザクション・クラスが、その定義された最大値に達した回数。

表 11. MTRANCLS ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
キューに入れられた合計トランザクション数	TOTQUEDCNT	このクラス内でキューに入れられたトランザクションの総数。

接続モニター・ビュー

「接続モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内のシステム間連絡 (ISC) 接続、複数領域操作 (MRO) 接続、および LU 6.2 モード名に関する情報が示されます。注: このモニター・データは、接続が CICSplex SM によりモニターされる接続にのみ使用可能です。

ISC/MRO 接続 - MCONNECT

「ISC/MRO 接続のモニター・データ」(MCONNECT) ビューには、モニター対象の ISC 接続と MRO 接続に関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「接続モニター・ビュー」 > 「ISC/MRO 接続」

表 12. 提供されている「ISC/MRO 接続のモニター・データ」(MCONNECT) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
ISC/MRO 接続のモニター・データ EYUSTARTMCONNECT.DETAILED	選択した接続に関する詳細情報
ISC/MRO 接続のモニター・データ EYUSTARTMCONNECT.DISCARD	現行サンプル間隔で CICSplex SM モニターから接続を除去し、その累積統計を破棄します。
ISC/MRO 接続のモニター・データ EYUSTARTMCONNECT.RESET	接続に関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
ISC/MRO 接続のモニター・データ EYUSTARTMCONNECT.TABULAR	モニター対象の ISC および MRO の接続についての表示情報に関するテーブル形式の情報

アクション

表 13. MCONNECT ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル間隔で CICSplex SM モニターから接続を除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	接続に関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 14. MCONNECT ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
アクセス方式	ACCESSMETHOD	この接続に使用中のアクセス方式 (VTAM、IRC、INDIRECT、または XM)。
自動開始プログラム記述子 (AID) の数	AIDS	AID チェーン内の現在の自動開始プログラム記述子 (AID) の数。
割り振り要求の合計数	ALLOCATES	このシステムに対する割り振り要求の総数。
キュー限度 (QUEUELIMIT) の割り振り	ALLOCQLIMIT	CONNECTION 定義で指定された QUEUELIMIT パラメーターの値。この値に達した場合、割り振りキュー要求は拒否されます。CONNECTION の QUEUELIMIT が NO と定義される場合、N/A が表示されます。
基本セッションで満たされる ATI 数	ATISBPRI	1 次 (コンテンション敗者) セッションで満たされた ATI 要求の数。
2 次セッションで満たされる ATI 数	ATISBSEC	2 次 (コンテンション勝者) セッションで満たされた ATI 要求の数。
送られた送信権要求の合計数	BIDSENT	送信された送信権要求の合計数。
現在進行中の送信権要求数	CONCURBIDS	現在進行中の送信権要求数。
接続設定の現地時刻	CONNCREATIME	この接続が自動インストールされた現地時間。APPC 接続の場合にのみ値が表示されます。
接続削除の現地時刻	CONNDELETIME	この接続が削除された現地時間。自動インストールされ、暗黙的に削除された APPC 接続の場合にのみ値が表示されます。
接続状況	CONNSTATUS	APPC または MRO のプロトコルを使用する接続では、接続状況は次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> ACQUIRED - 接続は獲得されています。つまり、パートナー LU と連絡が取れ、初期 CNOS 交換が完了しました。 AVAILABLE - 接続は獲得されていますが、現在バインド済みセッションはありません。 FREEING - 接続を解放中です。 NOTAPPLIC - この接続は、CICS 間 MRO または APPC 接続ではありません。 OBTAINING - 接続を獲得中です。 RELEASED - 接続は解放済みです。
現行サンプルのファイル制御シップ比率	CURFCFSRATE	前回のサンプル期間中に機能シップ要求が発行された比率。
DL/I 機能のシップ数	DLIFUNCSHIP	機能シップ用の DL/I 要求の数。
分散プログラム・リンク機能のシップ数	DPLFUNCSHIP	この接続経由で機能シップされた分散プログラム・リンク要求の数。
QUEUELIMIT 到達のため拒否された割り振り	EXIT_REJALLC	XZIQUE 出口により拒否された割り振りの数。
その他の障害のある割り振り要求数	FAILEDOTHERS	セッションが現在使用できないために失敗した割り振り要求の数。
リンクに失敗した割り振り要求数	FAILINKALLOC	接続が、解放されていたか、サービス休止であったか、またはクローズしたモード・グループであったために失敗した割り振り要求の数。
ファイル制御機能のシップ数	FCFUNCSHIP	機能シップ用のファイル制御要求の数。
接続設定の GMT 時刻	GMTCREATIME	この接続が自動インストールされたグリニッジ標準時。APPC 接続の場合にのみ値が表示されます。
接続削除の GMT 時刻	GMTDELETIME	この接続が削除されたグリニッジ標準時。自動インストールされ、暗黙的に削除された APPC 接続の場合にのみ値が表示されます。
間隔制御機能のシップ数	ICFUNCSHIP	機能シップ用の間隔制御要求の数。

表 14. MCONNECT ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
間隔 ID	INTERVALID	間隔の ID。
間隔のファイル制御シッパ率	INTFCFSRATE	モニター間隔において機能シッパ要求が発行された平均比率。
同時送信権要求の最大数	MAXBIDS	任意のいずれかの時点での進行中の送信権要求の最大数。
使用中の基本セッションのピーク数	MAXPRIMARIES	任意のいずれかの時点での、使用中の 1 次 (コンテンション敗者) セッションの最大数。
XZIQUE 出口ルーチンがパーズした割り振り数	MAXQTALLCPRG	キュー処理時間が最大キュー時間値を超える可能性があったためにパーズされた割り振りの数。
最大キュー時間	MAXQTIME	接続の QUEUELIMIT 値に達した場合に、割り振りキューの処理に充てられる秒単位の合計最大時間。割り振りキューの処理にこれよりも長い時間がかかる場合、キューはパーズされます。
MAXQTIME 値による割り振りキューのパーズ数	MAXQTPURGCNT	処理時間が最大キュー時間値を超える可能性があったために、割り振りキューがパーズされた回数。
一時点使用中 2 次局のピーク数	MAXSECOND	任意のいずれかの時点での、使用中の 2 次 (コンテンション勝者) セッションの最大数。
接続 ID	NAME	CICS システム定義 (CSD) データ・セットで定義された接続名。
ネット名	NETNAME	リモート・システムを VTAM ネットワークに識別させるための名前。
セッション待ちの AID 数	NONSPECAID	セッションが使用可能になるのを待機している自動開始プログラム記述子 (AID) の現行数。
未解決割り振り要求のピーク数	OUTSALLOC	このシステムについてキューに入れられた割り振り要求の最大数。
現在使用中の 1 次局の数	PRICURRUSED	MRO および LU6.1 接続の場合、この接続に現在使用中の MRO RECEIVE セッション数または LU6.1 1 次局数。
接続プロトコル	PROTOCOL	VTAM のアクセス方式による接続の場合、LU6.1 または APPC のどちらの SNA プロトコルが使用中か示します。値 NOTAPPLIC は、この接続が VTAM 接続でないことを意味します。
キューに入れられた割り振り要求数	QUEDALLOCATE	このシステムに対してキューに入れられた割り振り要求の現在の数。
定義された受信セッション数	RECEIVECOUNT	CONNECT レコードで定義された受信セッション数。
現在使用中の 2 次局の数	SECCURRUSED	MRO および LU6.1 接続の場合、この接続に現在使用中の MRO SEND セッション数または LU6.1 2 次局数。
定義された送信セッション数	SENDcount	CONNECT レコードで定義された送信セッション数。
サービス状況	SERVSTATUS	システムがデータを送受信できるかどうかを示します。次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • INSERVICE - 接続はサービス中です。システムはデータを送受信できます。 • OUTSERVICE - 接続はサービス中ではありません。システムはデータを送受信できません。 • GOINGOUT - 接続に関する OUTSERVICE 要求が発行されましたが、現在の作業がすべて完了するまで処理できません。
一時データ機能のシッパ数	TDFUNCSHIP	機能シッパ用の一時データ要求の数。
端末共用要求の数	TERMSHAREREQ	トランザクション・ルーティング・コマンドの数。
合計機能シッパ数	TOTFUNCSHIP	機能シッパ要求の合計数。これにはファイル制御、間隔制御、一時データ、一時記憶域、DL/I および DPL の要求が含まれます。
一時記憶機能のシッパ数	TSFUNCSHIP	機能シッパ用の一時ストレージ要求の数。

表 14. MCONNECT ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
接続タイプ	TYPE	接続のタイプ。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • INDIRECT - アクセス方式が間接の場合。 • LU61 - アクセス方式が VTAM でプロトコルが LU6.1 の場合。 • LU62 - アクセス方式が VTAM でプロトコルが APPC の場合。 • MRO - アクセス方式が IRC か XM のいずれかの場合。
XZIQUE 出口ルーチンが要求したキュー・ページ数	XZIQALLCPRG	キューのページを要求する XZIQUE 出口の結果としてページされた割り振りの数。
XZIQUE 出口ルーチンが拒否した割り振回数	XZIQPRGCNT	XZIQUE 出口により要求された割り振りキューのページの数。
予約スペース	XZIQREJS	この接続が出口による割り振りを拒否された回数。

LU 6.2 モード名 - MMODNAME

「LU 6.2 モード名のモニター・データ」(MMODNAME) ビューは、モニターされる LU 6.2 モード名に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「接続モニター・ビュー」 > 「LU 6.2 モード名」

表 15. 提供されている「LU 6.2 モード名のモニター・データ」(MMODNAME) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
LU 6.2 モード名用のモニター・データ EYUSTARTMMODNAME.DETAILED	選択した LU 6.2 モードネームに関する詳細情報
LU 6.2 モード名用のモニター・データ EYUSTARTMMODNAME.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから LU 6.2 モードネームを除去し、その累積統計を破棄します。
LU 6.2 モード名用のモニター・データ EYUSTARTMMODNAME.RESET	LU 6.2 モードネームに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
LU 6.2 モード名用のモニター・データ EYUSTARTMMODNAME.TABULAR	モニター対象 LU 6.2 モードネームについての表示情報に関するテーブル形式の情報

アクション

表 16. MMODNAME ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから LU 6.2 モードネームを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	LU 6.2 モードネームに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 17. MMODNAME ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
接続名	CONNECTION	このセッションのグループに関連している接続の名前。
接続状況	CONNSTATUS	接続の状況。次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • ACQUIRED - 接続は獲得されています。つまり、パートナー LU と連絡が取れ、初期 CNOS 交換が完了しました。 • AVAILABLE - 接続は獲得されていますが、現在バインド済みセッションはありません。 • FREEING - 接続を解放中です。 • OBTAINING - 接続を獲得中です。 • RELEASED - 接続は解放済みです。
間隔 ID	INTERVALID	間隔の ID。
モード名	NAME	特定の接続に定義されたセッションのグループの名前。接続にモードネームが定義されていない場合、このフィールドはブランクになります。 注: このフィールドがブランクの場合、行コマンドを使用して、モード名に対してアクションを実行する必要があります。1 次アクション・コマンドは、パラメーターとして指定するモードネームがないため、無効です。
アクティブ・セッション数	SESSACTV	このグループ内で現在使用中のセッションの数。
使用可能セッション数	SESSAVAIL	現在使用中のセッションおよび使用可能なセッションを含む、グループ内のバインドされたセッションの現行数。
最大セッション数	SESSMAX	このグループ内で一度にサポートされるセッションの最大数。
コンテンション勝者セッションの最大数	SESSMAXWIN	このグループ内でコンテンション勝者としてサポートできるセッションの最大数。

DB2 モニター・ビュー

「DB2 モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の DB2 スレッドに関する情報が表示されます。 注: このモニター・データは、CICSplex SM によってモニターされている DB2 システムでのみ利用可能です。

スレッド - MDB2THRD

「DB2 スレッドのモニター・データ」(MDB2THRD) ビューは、DB2 DSNCRCT テーブルに定義されているモニター対象の DB2 スレッドに関する情報を表示します。スレッドは初期トランザクション ID 順にリストされます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「DB2 モニター・ビュー」 > 「スレッド」

表 18. 提供されている「DB2 スレッドのモニター・データ」(MDB2THRD) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
DB2 スレッドのモニター・データ	選択した DB2 スレッドに関する詳細情報
EYUSTARTMDB2THRD.DETAILED	

表 18. 提供されている「DB2 スレッドのモニター・データ」(MDB2THRD) ビュー・セットのビュー (続き)

ビュー	注
DB2 スレッドのモニター・データ EYUSTARTMDB2THRD.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから DB2 スレッドを除去し、その累積統計を破棄します。
DB2 スレッドのモニター・データ EYUSTARTMDB2THRD.RESET	DB2 スレッドに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
DB2 スレッドのモニター・データ EYUSTARTMDB2THRD.TABULAR	モニター対象 DB2 スレッドについての表示情報に関するテーブル形式の情報

アクション

表 19. MDB2THRD ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから DB2 スレッドを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	DB2 スレッドに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 20. MDB2THRD ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
打ち切り回数	ABORTCNT	ロールバックされたリカバリー単位 (アベンドと同期点ロールバックの両方を含む) の数。このカウントが増分されるのは、コミット処理中に CICS がアボート呼び出しと共に DB2 を呼び出したときだけであり、他のタイプの DB2 アボートはカウントされません。
許可回数	AUTHCNT	この DSNCRCCT 項目に対して実行された許可検査の数。
許可タイプ	AUHTYPE	DSNCRCCT 項目の最初の AUTH= サブパラメーターで定義されている、このトランザクションの許可のタイプ。 <ul style="list-style-type: none"> CHARSTR - 特定の文字ストリング N/A - 許可を判別できません RACFGID - RACF のユーザー ID とグループ名 SIGNID - CICS システム許可 ID TERMID - 端末 ID TRANID - トランザクション ID USER - ユーザー・オペレーター ID (3 文字) USERID - サインオン・ユーザー ID (8 文字)
現在のスレッド数	CURTHREADS	この DSNCRCCT 項目に現在定義されているスレッドの数。
現行サンプルの使用率	CURUSERATE	現行サンプルに基づく DB2 使用比率。
ディスパッチング・モード	DPMODE	DSNCRCCT 項目の DPMODE= または DPMODI= パラメーターで指定されている、CICS に相対する接続サブタスクのディスパッチング優先順位。 <ul style="list-style-type: none"> EQUAL - サブタスクは CICS と等しい優先順位が許可されている必要があります。 HIGH - サブタスクは CICS よりも高い優先順位を持つことができます。 LOW - サブタスクは CICS よりも低い優先順位を持つことになります。

表 20. MDB2THRD ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
初期トランザクション	INITTRAN	DSNCRCT 項目の TXID= パラメーターで指定されている、スレッド内の最初のトランザクションを示します。ここに示される値は、どの TYPE= ステートメントが使用されたかに依存します。 <ul style="list-style-type: none"> • -CMD - TYPE=COMD • -POL - TYPE=POOL • tranid - TYPE=ENTRY
間隔 ID	INTERVALID	間隔の ID。
間隔の使用率	INTUSERATE	インターバルに基づく使用比率。
最大スレッド数	MAXTHREADS	THRDM= パラメーターで指定されている、この DSNCRCT 項目のスレッドの最大数。
DB2 サブシステム	NAME	このスレッドが所属する DB2 サブシステムの名前。
グループ内トランザクション数	OTHERIDS	DSNCRCT 項目の TXID= パラメーターで指定されている、他のトランザクションの数。
動的割り振りでない場合の計画名	PLANNAME	DSNCRCT 項目の PLAN= パラメーターで指定されている、このトランザクションに関連付けられたアプリケーション・プランの名前。 このフィールドがブランクの場合、プラン名は指定されていません。値が '*****' の場合、PLNEXIT=YES パラメーターが指定されていたのでプラン名が適用されないという意味になります。
動的計画割り振り出口ルーチン・プログラム	PLANPRGM	DSNCRCT 項目の PLANPGME= パラメーターで指定されている、このトランザクションの出口プログラムの名前。このフィールドがブランクの場合、出口プログラム名は指定されていません。
読み取り専用コミット回数	READCOMMIT	このスレッドに関連付けられたトランザクションのために処理された読み取り専用コミットの数。
ロールバック・オプション	ROLLBACKOPT	DSNCRCT 項目の ROLBE= または ROLBI= パラメーターで指定されている、このトランザクションのロールバック・オプション。 <ul style="list-style-type: none"> • YES - アプリケーションに制御を戻す前に同期点ロールバックが発行されます。 • NO - ロールバックは発行されません。
予約済みスレッド	RSVTHREADS	THRDS= パラメーターで指定されている、この DSNCRCT 項目に対する開始済みスレッド・サブタスクの数。
使用中のピーク・スレッド数	THREADHWM	THRDA= パラメーターで指定されている、この DSNCRCT 項目について接続機能が接続を許可しているスレッドの最大数。
スレッド待機数	THREADWAIT	このトランザクションがスレッドを待機しなかった回数。
スレッド待機オプション	THREADWOPT	TWAIT= または TWAITI= パラメーターで指定されている、この DSNCRCT 項目のスレッド待機オプション。この値は、すべてのスレッドが使用中のときにトランザクションがどのように応答するかを示します。 <ul style="list-style-type: none"> • YES - 現在の項目でスレッドを待機します。 • NO - アペンドを出して終了します。 • POOL - 次の使用可能なプール・スレッドを利用します。
計画使用回数	USECOUNT	指定されたプランが使用された回数。

FEPI モニター・ビュー

「フロントエンド・プログラミング・インターフェース」(FEPI) ビューには、現行内容および現行スコープ内にある FEPI 接続、ノード、プール、プロパティー・セット、およびターゲットに関する情報が表示されます。

接続 - MFEPICON

「モニター FEPI 接続」(MFEPICON) ビューは、モニター対象 CICS システム内のインストール済み FEPI 接続に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「FEPI モニター・ビュー」 > 「接続」

表 21. 提供されている「FEPI 接続のモニター・データ」(MFEPICON) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
FEPI 接続のモニター・データ EYUSTARTMFEPICON.DETAILED	選択した FEPI 接続に関する詳細情報
FEPI 接続のモニター・データ EYUSTARTMFEPICON.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから FEPI 接続を除去し、その累積統計を破棄します。
FEPI 接続のモニター・データ EYUSTARTMFEPICON.RESET	FEPI 接続に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
FEPI 接続のモニター・データ EYUSTARTMFEPICON.TABULAR	モニター対象 FEPI 接続についての表示情報に関するテーブル形式の情報

アクション

表 22. MFEPICON ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから FEPI 接続を除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	FEPI 接続に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 23. MFEPICON ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
獲得状況	ACQSTATUS	獲得の状態。すなわち、接続上のセッションがバインド済みかどうか (ACQUIRED、ACQUIRING、RELEASED、または RELEASING)。
獲得数	ACQUIRES	接続が獲得された回数。
受信文字数	CHARSRECV	この接続で受信したデータの文字数。
送信文字数	CHARSENT	この接続で送信されたデータの文字数。
会話数	CONVERSATIONS	接続を使用した会話の数。
現行サンプルの獲得比率	CSACQRATE	サンプル期間ごとの獲得の比率。
エラー状態数	ERRORS	この接続について発生したVTAMエラー状態の数。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔の獲得比率	MIACQRATE	モニター・インターバルごとの獲得の比率。
Node name (ノード名)	NODENAME	接続を識別するノード名。
プール名	POOLNAME	接続を識別するプールの名前。
受信タイムアウト数	RCVTIMEOUT	この接続上での FEPI 受信タイムアウトの回数。

表 23. MFEPICON ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
接続サービス状態	SERVSTATUS	接続のサービス状態 (INSERVICE、OUTSERVICE、または GOINGOUT)。
会話状況	STATE	接続を使用する会話の状態 (NOCONV、PENDSTSN、STSN、PENDBEGIN、BEGINSESSION、APPLICATION、PENDDATA、PENDSTART、PENDFREE、FREE、PENDRELEASE、RELEASE、PENDUNSOL、UNSOLEDDATA、または PENDPASS)。
ターゲット名	TARGETNAME	接続を識別するターゲット名。
非請求入力数	UNSOLICINP	この接続で非送信請求入力を受信した回数。
接続待ちの会話数	WAITCONVNUM	接続を使用して開始するのを待っている会話の数。

ファイル・モニター・ビュー

「ファイル・モニター」ビューには、モニター対象のローカル・ファイルやリモート・ファイル、および CICS 保守またはユーザー保守のデータ・テーブルやカップリング・ファシリティ・データ・テーブルが関連付けられているモニター対象のファイルに関する情報が表示されます。 注: このモニター・データは、CICSplex SM によりモニターされるファイルにのみ使用可能です。

管理対象データ・テーブル - MCMDT

「管理対象データ・テーブルのモニター・データ」(MCMDT) ビューは、CICS による保守またはユーザー保守のデータ・テーブル (あるいはそれらに関連付けられたカップリング・ファシリティ・データ・テーブル) を持つモニター対象ファイルに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「ファイル・モニター・ビュー」 > 「管理対象データ・テーブル」

表 24. 提供されている「管理対象データ・テーブルのモニター・データ」(MCMDT) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.DETAIL1	関連データ・テーブルを持ったモニター対象ファイルに関する詳細テーブル情報
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.DETAIL2	関連データ・テーブルを持ったモニター対象ファイルに関する詳細データ・セット情報
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.DETAILED	関連データ・テーブルを持ったモニター対象ファイルに関する詳細情報
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからデータ・テーブル・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.RESET	データ・テーブル・ファイルに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

表 24. 提供されている「管理対象データ・テーブルのモニター・データ」(MCMDT) ビュー・セットのビュー (続き)

ビュー	注
管理対象データ・テーブルのモニター・データ EYUSTARTMCMDT.TABULAR	関連データ・テーブルを持ったモニター対象ファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 25. MCMDT ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからデータ・テーブル・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	データ・テーブル・ファイルに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 26. MCMDT ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
追加要求数	ADDCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された PUT 要求の数。
読み取りに起因する追加要求	ADDFRREAD	ロード・プロセスによって、あるいはロードの進行中に発行された読み取り要求の結果として、データ・テーブル・ファイルに入れられたレコード数。
出口ルーチンが拒否した追加要求	ADDREJ	CICS がデータ・テーブル・ファイルへの追加を試行し、グローバル・ユーザー出口によって拒否されたレコード数。
合計追加要求数	ADDREQ	書き込み要求の結果としてデータ・テーブル・ファイルへレコードの追加を試みた回数。
テーブル満杯時の追加要求数	ADDTFULL	CICS がデータ・テーブル・ファイルへの追加を試行し、テーブル内のレコードが許容される最大数に達しているために拒否されたレコード数。
ブラウズ要求数	BROWSECNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された GET NEXT および GET PREV 要求の数。
CFDT コンテンション回数	CONTENTION	データ・テーブルからの読み取りの結果として CFDT サーバー上で競合が発生した回数。
現行レコード・カウント	CURCOUNT	データ・テーブル・ファイル内の現在のレコード数。
現行サンプルの VSAM データ EXCP 比率	CURDEXCPRATE	前回のサンプル期間中のデータ・レコードの入出力操作率。
現行サンプルの VSAM 索引 EXCP 比率	CURIEXCPRATE	前回のサンプル期間中の索引レコードの入出力操作率。
現行サンプルの MDT 比率	CURMRQRATE	最後のサンプル期間中に、データ・テーブル・ファイルに対して発行された変更要求の比率。
現行サンプルの正常な読み取りの比率	CURREADRATE	最後のサンプル期間中に、データ・テーブル・ファイルからレコードが取り出された比率。
現行サンプルの要求比率	CURREQRATE	前回のサンプル期間における、データ・テーブル・ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の発行率。
合計削除要求数	DELETEREQ	DELETE 要求の結果としてデータ・テーブル・ファイルからレコードの削除を試みた回数。
VSAM EXCP カウント・データ・コンポーネント	DEXPCNT	VSAM ファイルの場合、データ・レコードの入出力操作の数。

表 26. MCMDT ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
データ・セット名	DSNAME	データ・テーブル・ファイルに関連付けられたデータ・セットの 44 文字の名前。アクセス方式およびオペレーティング・システムに定義されているものです。
使用可能状況	ENABLESTATUS	データ・テーブル・ファイルが、アプリケーション・プログラムからのアクセスに使用可能かどうかを示します。この状況は次のいずれかになります。 <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED - アクセス可能です。 • DISABLED - 使用不可コマンドの結果として、アクセスできません。 • DISABLING - 使用不可コマンドの後、まだアクセス中です。 • UNENABLED - クローズ・コマンドの結果として、アクセスできません。 • UNENABLING - ファイルのクローズ要求を受信しましたが、それ以前にファイルにアクセスしたタスクが実行中です。これらのタスクのファイル使用は完了できますが、新しいタスクによるアクセスはできません。
ファイル ID	FILE	ファイルの ID。
取得要求数	GETCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された GET 要求の数。
更新取得要求数	GETUPDCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された GET UPDATE 要求の数。
VSAM EXCP カウント INDX コンポーネント	IEXPCNT	VSAM ファイルの場合、索引レコードの入出力操作の数。
間隔の VSAM データ EXCP 比率	INTDEXCPRATE	モニター間隔におけるデータ・レコードの平均入出力操作率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の VSAM 索引 EXCP 比率	INTIEXCPRATE	モニター間隔における索引レコードの平均入出力操作率。
間隔の MDT 比率	INTMRQRATE	モニター・インターバル全体で、データ・テーブル・ファイルに対して発行された変更要求の平均比率。
間隔の正常な読み取りの比率	INTREADRATE	モニター・インターバル全体で、データ・テーブル・ファイルからレコードが取り出された平均比率。
間隔の要求比率	INTREQRATE	モニター間隔における、データ・テーブル・ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の平均発行率。
ローカル削除要求数	LOCDELCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された DELETE 要求の数。
LSR プール番号	LSRPOOLID	ローカル共用リソース・プールの数。
テーブルが保持できる最大レ コード数	MAXNUMRECS	データ・テーブル・ファイルが保持できるレコードの最大数。 'NOLIMIT' という値は、最大値が設定されていないことを意味します。
最大テーブル・サイズ	MAXTSIZE	データ・テーブル・ファイル内のレコードの一時点最高数
アクティブなストリング数	NUMACTSTRING	現在アクティブな VSAM ストリングの数。
データ・バッファ数	NUMDATBUFF	データに割り振られたストレージ・バッファの数。
索引バッファ数	NUMINDEXBUFF	索引に割り振られたストレージ・バッファの数。
アクティブ・ストリングの待 機数	NUMSTRINGWT	VSAM アクティブ・ストリング待ちの数。
オープン状況	OPENSTATUS	データ・テーブル・ファイルがオープン、クローズ、移行中のいずれであるかを示します。

表 26. MCMDT ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
CFDT プール名	POOLNAME	MVS カップリング・ファシリティ・データ・テーブル (CFDT) では、テーブルがそこで構成される CFDT プールの名前。
読み取り再試行	READRETRY	読み取り中に FOR によってテーブルが変更されたために、AOR が読み取りを再試行しなければならなかった回数。
正常な読み取り	READS	データ・テーブル・ファイルからのレコード取り出しの試行が成功した数。
テーブルになかった合計レコード数	RECNOTFND	データ・テーブル・ファイルでレコードが見つからなかったために、読み取り要求がソース・データ・セットに向けられた回数。
レコード・サイズ	RECORDSIZE	固定長レコードの場合、レコードの実際のサイズ。 可変長レコードの場合、レコードの最大サイズ。
合計再書き込み要求数	REWRITE	REWRITE 要求の結果としてデータ・テーブル・ファイル内でレコードの更新を試みた回数。
使用中ストレージ合計	STGALCINU	データ・テーブル・ファイル用に使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。
割り振りストレージ合計	STGALCTOT	データ・テーブル・ファイルに割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
使用中データ・ストレージ	STGDTAINU	データ・テーブル・ファイルのレコード・データで使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。
割り振りデータ・ストレージ	STGDTATOT	データ・テーブル・ファイルのレコード・データに割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
使用中エントリー・ストレージ	STGENTINU	データ・テーブル・ファイルのレコード入力ブロックで使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。
割り振りエントリー・ストレージ	STGENTTOT	データ・テーブル・ファイルのレコード入力ブロックに割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
使用中索引ストレージ	STGIDXINU	データ・テーブル・ファイルの索引で使用中のストレージの量 (キロバイト単位)。
割り振り索引ストレージ	STGIDXTOT	データ・テーブル・ファイルの索引に割り振られたストレージの総量 (キロバイト単位)。
ストリング	STRINGS	データ・テーブル・ファイルで実行できる並行操作の数。
データ・テーブル標識	TABLE	ファイルに関連付けられたデータ・テーブルが、カップリング・ファシリティ・テーブル (CFTABLE)、CICS 保守テーブル (CICSTABLE)、ユーザー保守テーブル (USERTABLE) であるか、現在データ・テーブルとして定義されていない (NOTTABLE) かを示します。
CFDT テーブル名	TABLENAME	MVS カップリング・ファシリティ・データ・テーブル (CFDT) では、ファイルがロードされる CFDT テーブルの名前。
クローズ時刻	TIMECLOSE	データ・テーブル・ファイルが閉じられた現地時間。
オープン時刻	TIMEOPEN	データ・テーブル・ファイルが開かれた現地時間。
全要求の合計数	TOTLREQCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の総数。
全 MDT 要求の合計数	TOTMREQCNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された変更要求の総数。
更新要求数	UPDATECNT	データ・テーブル・ファイルに対して発行された PUT UPDATE 要求の数。
VSAM ファイル・タイプ	VSAMTYPE	データ・テーブル・ファイルの VSAM ファイル・タイプ。
ストリングにおける最大同時待機数	WSTRCCURCNT	データ・テーブル・ファイルに使用可能なすべてのストリングが使用中だったために、1 時点でキューに入れられていた要求の最大数。

表 26. MCMDT ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
ストリングにおける合計待機数	WSTRCNT	データ・テーブル・ファイルに使用可能なすべてのストリングが使用中だったためにキューに入れられた要求の総数。

ローカル・ファイル - MLOCFILE

「ローカル・ファイルのモニター・データ」(MLOCFILE) ビューには、モニター対象のローカル・ファイルに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「ファイル・モニター・ビュー」 > 「ローカル・ファイル」

表 27. 提供されている「ローカル・ファイルのモニター・データ」(MLOCFILE) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
ローカル・ファイルのモニター・データ EYSTARTMLOCFILE.DETAILED	モニター対象ローカル・ファイルに関する詳細情報
ローカル・ファイルのモニター・データ EYSTARTMLOCFILE.DISCARD	現行サンプル間隔の CICSPlex SM モニターからローカル・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
ローカル・ファイルのモニター・データ EYSTARTMLOCFILE.RESET	ローカル・ファイルに関連付けられている CICSPlex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。
ローカル・ファイルのモニター・データ EYSTARTMLOCFILE.TABULAR	モニター対象ローカル・ファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 28. MLOCFILE ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル間隔の CICSPlex SM モニターからローカル・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	ローカル・ファイルに関連付けられている CICSPlex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。

フィールド

表 29. MLOCFILE ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
アクセス方式	ACCESSMETHOD	ファイルに使用されるアクセス方式 (BDAM または VSAM)。
書き込み要求数	ADDCNT	ファイルに対して発行された書き込み要求の数。
ブロック・サイズ (BDAM のみ)	BLOCKSIZE	BDAM ファイルの場合、ブロックのバイト単位の長さ。ブロックが可変長であるかまたは未定義の場合、表示される値は最大ブロック・サイズです。 値 N/A は、ファイルが BDAM ファイルでないことを意味します。

表 29. MLOCFILE ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
READNEXT 要求および READPREV 要求の数	BROWSECNT	ファイルに対して発行された READNEXT および READPREV 要求の数。
更新ブラウズの要求数	BROWUPDCNT	このファイルに対して発行された READNEXT、READPREV、および REWRITE 要求の数。これは RLS ファイルにのみ有効です。
現行サンプルのデータ入出力 操作の比率	CURDEXCPRATE	前回のサンプル期間中のデータ・レコードの入出力操作率。
現行サンプルの索引入出力操 作の比率	CURIEXCPRATE	前回のサンプル期間中の索引レコードの入出力操作率。
現行サンプルの要求比率	CURREQRATE	前回のサンプル期間における、ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の発行率。
データ・レコードの入出力操 作数	DEXPCNT	VSAM ファイルの場合、データ・レコードの入出力操作の数。
データ・セット名	DSNAME	アクセス方式およびオペレーティング・システムに対して定義された、ファイルに関連付けられた 44 文字のデータ・セット名。
使用可能状況	ENABLESTATUS	ファイルがアプリケーション・プログラムによってアクセス可能かどうかを示します。状況は次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • ENABLED - アクセス可能です。 • DISABLED - SET DISABLED コマンドの結果としてアクセス不可です。 • DISABLING - SET DISABLED または SET CLOSED コマンドの後、引き続きアクセスされます。 • UNENABLED - SET CLOSED コマンドの結果としてアクセス不可です。
ファイル ID	FILE	ファイルの ID。
読み取り要求数	GETCNT	ファイルに対して発行された読み取り要求の数。
READ UPDATE 要求数	GETUPDCNT	ファイルに対して発行された READ UPDATE 要求の数。
索引コンポーネントに対する 入出力操作数	IEXPCNT	VSAM ファイルの場合、索引レコードの入出力操作の数。
モニター間隔のデータ入出力 操作の比率	INTDEXCPRATE	モニター間隔におけるデータ・レコードの平均入出力操作率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔の索引入出力操 作の比率	INTIEXCPRATE	モニター間隔における索引レコードの平均入出力操作率。
モニター間隔の要求比率	INTREQRATE	モニター間隔における、ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の平均発行率。
DELETE 要求数	LOCDELCNT	ファイルに対して発行された DELETE 要求の数。
LSR プール番号	LSRPOOLID	VSAM ファイルの場合、ファイルに関連した LSR プールの数。 N/A の値の意味は、次のいずれかです。 <ul style="list-style-type: none"> • このファイルは VSAM ファイルではありません • このファイルは LSR プールに関連付けられていません
アクティブなストリング数	NUMACTSTRING	ファイルに対する要求の現在数。
データ・バッファ数	NUMDATBUFF	データに使用されるバッファの数。
索引バッファ数	NUMINDEXBUFF	索引に使用されるバッファの数。
現在のストリング待機数	NUMSTRINGWT	現在の VSAM アクティブ・ストリング待機数。

表 29. MLOCFILE ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
データ・セット・タイプ (基本またはパス)	OBJECT	VSAM ファイルの場合、ファイルが基本データ・セットに関連しているか (BASE)、または代替索引を用いてアクセスされるパスとして定義されているか (PATH) を示します。
オープン状況	OPENSTATUS	ファイルがオープンしているか、クローズしているか、または移行状態かを示します。
レコード・サイズ	RECORDSIZE	固定長レコードの場合、レコードの実際のサイズ。 可変長レコードの場合、レコードの最大サイズ。 ファイルがオープンしていない場合は、値 0 が戻されます。
レコード・レベル共用 (RLS) 要求待機のタイムアウト	RLSREQWTO	VSAM RLS サーバーから要求の完了を待機している間にタイムアウトした RLS ファイル要求の数。
ストリング数	STRINGS	VSAM ファイルの場合、ファイル上で実行できる並行操作の数。 値 N/A は、ファイルが VSAM ファイルでないことを意味します。
ファイルがクローズされた現地時刻	TIMECLOSE	ファイルがクローズされた現地時間。
ファイルがオープンされた現地時刻	TIMEOPEN	ファイルがオープンされた現地時間。
全要求の合計数	TOTLREQCNT	ファイルに対して発行された API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の総数。
REWRITE 要求数	UPDATECNT	ファイルに対して発行された REWRITE 要求の数。
VSAM ファイル・タイプ	VSAMTYPE	ファイルに関連したデータ・セット内でのレコードの編成方法を示します。 VSAM ファイルの場合、タイプは次のいずれかで示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • ESDS - 入力順データ・セット • KSDS - キー順データ・セット • RRDS - 相対レコード・データ・セット BDAM ファイルの場合、タイプは KEYED または NOTKEYED のいずれかです。 ファイルがオープンしていない場合は、値 NOTAPPLIC が戻されます。
ストリングを待機しているピーク・タスク数	WSTRCCURCNT	ファイルに使用可能なすべてのストリングが使用中であるために任意のいずれかの時点でキューに入れられた要求の最大数。
全ストリングが使用中によりキューに入れられた合計要求数	WSTRCNT	ファイルに使用可能なすべてのストリングが使用中であるためにキューに入れられた要求の合計数。

リモート・ファイル - MREMFILE

「リモート・ファイルのモニター・データ」(MREMFILE) ビューは、モニターされるリモート・ファイルに関する情報を表示します。リモート・ファイルとは、ローカル CICS システムに対して定義されているものの、別の CICS システムにあるファイルです。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「ファイル・モニター・ビュー」 > 「リモート・ファイル」

表 30. 提供されている「リモート・ファイルのモニター・データ」(MREMFIL) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
リモート・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMREMFIL.DETAILED	モニター対象リモート・ファイルに関する詳細情報
リモート・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMREMFIL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからリモート・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
リモート・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMREMFIL.RESET	リモート・ファイルに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
リモート・ファイルのモニター・データ EYUSTARTMREMFIL.TABULAR	モニター対象リモート・ファイルに関するテーブル形式の情報

アクション

表 31. MREMFIL ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからリモート・ファイルを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	リモート・ファイルに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 32. MREMFIL ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
書き込み要求数	ADDCNT	ファイルに対して発行された PUT 要求の数。
READNEXT、READPREV 要求数	BROWSECNT	ファイルに対して発行された READNEXT および READPREV 要求の数。
現行サンプルの要求比率	CURREQRATE	前回のサンプル期間における、ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の発行率。
使用可能状況	ENABLESTATUS	ファイルの使用可能状況。
ファイル ID	FILE	ローカル CICS システムに認識されているファイルの名前。
READ 要求数	GETCNT	ファイルに対して発行された GET 要求の数。
READ UPDATE 要求数	GETUPDCNT	ファイルに対して発行された GET UPDATE 要求の数。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔の要求比率	INTREQRATE	モニター間隔における、ファイルに対する API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の平均発行率。
DELETE 要求数	REMDEL CNT	ファイルに対して発行された DELETE 要求の数。
リモート・ファイル名	REMOTENAME	リモート・システムでファイルを認識するときの名前。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	リモート・ファイルがある CICS システムの名前。

表 32. MREMFILF ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
全要求の合計数	TOTLREQCNT	ファイルに対して発行された API 要求 (READ、READ UPDATE、READNEXT、READPREV、WRITE、REWRITE、および DELETE) の総数。
REWRITE 要求数	UPDATECNT	ファイルに対して発行された PUT UPDATE 要求の数。

グローバル・リソース・モニター・ビュー

「グローバル・リソース・モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の、ローカル共用リソース (LSR) バッファおよびプール、区画内一時データ・キューおよび一時記憶域に関する情報が表示されます。

LSR プール・バッファ - MLSRPBUF

「**LSR** プール・バッファのモニター・データ」(MLSRPBUF) ビューは、モニター対象 CICS システム内のローカル共用リソース (LSR) プールのためのバッファ使用量に関する情報を表示します。情報は個々のバッファ・サイズごとに示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「グローバル・リソース・モニター・ビュー」 > 「**LSR** プール・バッファ」

表 33. 提供されている「**LSR** プール・バッファのモニター・データ」(MLSRPBUF) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
LSR プール・バッファのモニター・データ EYUSTARTMLSRPBUF.DETAILED	選択した LSR プール・バッファのバッファ使用に関する詳細情報
LSR プール・バッファのモニター・データ EYUSTARTMLSRPBUF.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから LSR プールを除去し、その累積統計を破棄します。
LSR プール・バッファのモニター・データ EYUSTARTMLSRPBUF.RESET	LSR プールに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
LSR プール・バッファのモニター・データ EYUSTARTMLSRPBUF.TABULAR	LSR プール・バッファのバッファ使用に関するテーブル形式の情報

アクション

表 34. MLSRPBUF ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから LSR プールを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	LSR プールに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 35. MLSRPBUF ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
バッファ数	COUNT	プールで利用できる各サイズのバッファの数。
正常なハイパースペース CREAD 回数	CREADS	ハイパースペース・バッファから仮想バッファにデータを転送するために出された CREAD 要求の成功数。
現行サンプルに対するハイパースペース読み取り比率	CURHREADRATE	最後のサンプル期間中に、CREAD 要求がハイパースペース・バッファに対して発行された比率。
現行サンプルに対するハイパースペース書き込み比率	CURHWRITRATE	最後のサンプル期間中に、CWRITE 要求がハイパースペース・バッファに対して発行された比率。
現行サンプルに対する読み取り比率	CURREADRATE	最後のサンプル期間中に、READ 入出力要求がバッファに発行された比率。
現行サンプルに対する書き込み比率	CURWRITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) が発行された比率。
正常なハイパースペース CWRITE 回数	CWRITES	仮想バッファからハイパースペース・バッファにデータを転送するために出された CWRITE 要求の成功数。
失敗したハイパースペース CREAD 回数	FAILCREADS	バッファに対する CREAD 要求失敗数。MVS がスペースを撤廃したため、VSAM が DASD からデータを読み取る必要がありました。
失敗したハイパースペース CWRITE 回数	FAILCWRITES	バッファに対する CWRITE 要求失敗数。ハイパースペースが不足したため、VSAM が DASD にデータを書き込む必要がありました。
ハイパースペース・バッファ数	HIPERBUFF	プールに指定されているハイパースペース・バッファの数。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔に対するハイパースペース読み取り比率	INTHREADRATE	モニター・インターバル全体で、CREAD 要求が仮想バッファに対して発行された平均比率。
間隔に対するハイパースペース書き込み比率	INTHWRITRATE	モニター・インターバル全体で、CWRITE 要求がハイパースペース・バッファに対して発行された平均比率。
間隔に対する読み取り比率	INTREADRATE	モニター・インターバル全体で、READ 入出力要求がバッファに発行された平均比率。
間隔に対する書き込み比率	INTWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) が発行された平均比率。
正常な検索回数	LOOKASIDES	物理的入出力操作を開始せずに VSAM が対応できた READ 要求の数。
非ユーザー開始書き込み数	NONUWRITE	バッファからの非ユーザー始動 WRITE 入出力の数。
プール ID/バッファ・サイズ/バッファ・タイプ	POOLSIZE TYPE	プール番号、バッファ・サイズ、バッファ・タイプ
バッファ読み取り数	READS	バッファ制御間隔が見つからなかったために VSAM が開始する必要のあった、バッファに対する READ 入出力数。
ユーザー開始書き込み数	USERIWRITE	バッファからのユーザー始動 WRITE 入出力の数。

LSR プール - MLSRPOOL

「LSR プールのモニター・データ」(MLSRPOOL) ビューは、モニター対象 CICS システム内のローカル共用リソース (LSR) プールに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「グローバル・リソース・モニター・ビュー」 > 「LSR
プール」

表 36. 提供されている「LSR プールのモニター・データ」(MLSRPOOL) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
LSR プールに対するモニター・データ EYUSTARTMLSRPOOL.DETAILED	選択した LSR プールに関する詳細情報
LSR プールに対するモニター・データ EYUSTARTMLSRPOOL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSPlex SM モニターから LSR プールを除去し、その累積統計を破棄します。
LSR プールに対するモニター・データ EYUSTARTMLSRPOOL.RESET	LSR プールに関連した CICSPlex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。
LSR プールに対するモニター・データ EYUSTARTMLSRPOOL.TABULAR	LSR プールに関するテーブル形式の情報

アクション

表 37. MLSRPOOL ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSPlex SM モニターから LSR プールを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	LSR プールに関連した CICSPlex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。

フィールド

表 38. MLSRPOOL ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
作成現地時刻	CREATETIME	LSR プールが作成された時刻。
現行サンプルに対するデータ・バッファ検索比率	CURDBHITRATE	最後のサンプル期間中に、物理的入出力を行わずに満たされた、データ・バッファに対する READ 要求の比率。
現行サンプルに対するデータ・バッファ CREAD 比率	CURDHREARATE	最後のサンプル期間中に、CREAD 要求がハイパースペース・データ・バッファに対して発行された比率。
現行サンプルに対するデータ・バッファ CWRITE 比率	CURDHWIRATE	最後のサンプル期間中に、CWRITE 要求がハイパースペース・データ・バッファに対して発行された比率。
現行サンプルに対するデータ・バッファ読み取り比率	CURDREADRATE	最後のサンプル期間中に、READ 入出力要求がデータ・バッファに発行された比率。
現行サンプルに対するデータ・バッファ書き込み比率	CURDWRITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) がデータ・バッファに発行された比率。
現行サンプルに対する索引バッファ検索比率	CURIBHITRATE	最後のサンプル期間中に、物理的入出力を行わずに満たされた、索引バッファに対する READ 要求の比率。
現行サンプルに対する索引バッファ CREAD 比率	CURIHREARATE	最後のサンプル期間中に、CREAD 要求が仮想索引バッファに対して発行された比率。
現行サンプルに対する索引バッファ CWRITE 比率	CURIHWIRATE	最後のサンプル期間中に、CWRITE 要求がハイパースペース索引バッファに対して発行された比率。
現行サンプルに対する索引バッファ読み取り比率	CURIREADRATE	最後のサンプル期間中に、READ 入出力要求が索引バッファに発行された比率。

表 38. MLSRPOOL ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
現行サンプルに対する索引バッファ書き込み比率	CURIWRITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) が索引バッファに発行された比率。
データ・バッファの正常な検索数	DBLOOKASIDE	物理的入出力操作を行わずに VSAM が対応できたデータ・バッファの READ 要求の数。
非ユーザー始動データ・バッファ書き込み数	DBNUWRITE	プール用のデータ・バッファからの非ユーザー始動 WRITE 入出力の数。
データ・バッファの読み取り入出力数	DBREAD	バッファ制御間隔が見つからなかったために VSAM が開始する必要のあった、データ・バッファに対する READ 入出力数。
データ・バッファ数	DBUFFCNT	プールによって使用されているデータ・バッファの数。
ユーザー始動データ・バッファ書き込み数	DBUIWRITE	プール用のデータ・バッファからのユーザー始動 WRITE 入出力の数。
正常なデータ・バッファ CREAD 要求数	DCREAD	ハイパースペース・データ・バッファから仮想データ・バッファにデータを転送するために出された CREAD 要求の成功数。
正常なデータ・バッファ CWRITE 要求数	DCWRITE	仮想データ・バッファからハイパースペース・データ・バッファにデータを転送するために出された CWRITE 要求の成功数。
削除現地時刻	DELETETIME	LSR プールが削除された時刻。値が表示されるのは、LSR プールが削除された場合、つまり、そのプールを使用していたすべてのファイルが閉じられた場合に限られます。
失敗したデータ・バッファ CREAD 要求数	DFAILCREAD	データ・バッファに対する CREAD 要求失敗数。MVS がスペースを撤廃したため、VSAM が DASD からデータを読み取る必要がありました。
失敗したデータ・バッファ CWRITE 要求数	DFAILCWRITE	データ・バッファに対する CWRITE 要求失敗数。ハイパースペースが不足したため、VSAM が DASD にデータを書き込む必要がありました。
ハイパースペース・データ・バッファ数	DHIPERBUF	プールに指定されているハイパースペース・データ・バッファの数。
検索索引バッファ読み取り数	IBLOOKASIDE	物理的入出力操作を行わずに VSAM が対応できた索引バッファの READ 要求の数。
非ユーザー始動索引バッファ書き込み数	IBNUWRITE	プール用の索引バッファからの非ユーザー始動 WRITE 入出力の数。
索引バッファ合計読み取り数	IBREADS	バッファ制御間隔が見つからなかったために VSAM が開始する必要のあった、索引バッファに対する READ 入出力数。
索引バッファ数	IBUFFCNT	プールによって使用されている索引バッファの数。
ユーザー始動索引バッファ書き込み数	IBUIWRITE	プール用の索引バッファからのユーザー始動 WRITE 入出力の数。
正常な索引バッファ CREAD 要求数	ICREAD	ハイパースペース索引バッファから仮想索引バッファにデータを転送するために出された CREAD 要求の成功数。
正常な索引バッファ CWRITE 要求数	ICWRITE	仮想索引バッファからハイパースペース索引バッファにデータを転送するために出された CWRITE 要求の成功数。
ハイパースペース索引バッファ数	IDHIPERBUF	プールに指定されているハイパースペース索引バッファの数。
個別データおよび索引フラグ	IDXDATFLG	データ・バッファと索引バッファが別個のプールを使用する (YES) か、同じプールを共用する (NO)かを示します。
失敗した索引バッファ CREAD 要求数	IFAILCREAD	索引バッファに対する CREAD 要求失敗数。MVS がスペースを撤廃したため、VSAM が DASD からデータを読み取る必要がありました。
失敗した索引バッファ CWRITE 要求数	IFAILCWRITE	索引バッファに対する CWRITE 要求失敗数。ハイパースペースが不足したため、VSAM が DASD にデータを書き込む必要がありました。

表 38. MLSRPOOL ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
モニター間隔に対するデータ・バッファ検索比率	INTDBHITRATE	モニター・インターバル全体で、データ・バッファに対する READ 要求が、物理的入出力を行わずに満たされた平均比率。
モニター間隔に対するデータ・バッファ CREAD 比率	INTDHREARATE	モニター・インターバル全体で、CREAD 要求が仮想データ・バッファに対して発行された平均比率。
モニター間隔に対するデータ・バッファ CWRITE 比率	INTDHWIRATE	モニター・インターバル全体で、CWRITE 要求がハイパースペース・データ・バッファに対して発行された平均比率。
モニター間隔に対するデータ・バッファ読み取り比率	INTDREADRATE	モニター・インターバル全体で、READ 入出力要求がデータ・バッファに発行された平均比率。
モニター間隔に対するデータ・バッファ書き込み比率	INTDWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) がデータ・バッファに発行された平均比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔に対する索引バッファ検索比率	INTIBHITRATE	モニター・インターバル全体で、索引バッファに対する READ 要求が、物理的入出力を行わずに満たされた平均比率。
モニター間隔に対する索引バッファ CREAD 比率	INTIHREARATE	モニター・インターバル全体で、CREAD 要求が仮想索引バッファに対して発行された平均比率。
モニター間隔に対する索引バッファ CWRITE 比率	INTIHWIRATE	モニター・インターバル全体で、CWRITE 要求がハイパースペース索引バッファに対して発行された平均比率。
モニター間隔に対する索引バッファ読み取り比率	INTIREADRATE	モニター・インターバル全体で、READ 入出力要求が索引バッファに発行された平均比率。
モニター間隔に対する索引バッファ書き込み比率	INTIWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求 (ユーザー始動および非ユーザー始動の両方) が索引バッファに発行された平均比率。
LSR プール番号	LSRPOOLID	数値の LSR プール番号。範囲は 1 から 255。
同時アクティブ・ストリングのピーク数	MAXCCURSTR	いずれかの時点でアクティブだったストリングの最大数。
キーの最大長	MAXKEYLEN	この LSR プールを使用する可能性のある VSAM データ・セットの最も長いキーの長さ。
待機要求のピーク数	PEAKWAITREQ	プール内のすべてのストリングが使用中だったためにいずれかの時点でキューに入れられた要求の最大数。
合計ストリング数	TOTSTRINGS	LSR プールで使用できるストリングの総数。
合計ストリング待機数	TOTWAITREQ	プール内のすべてのストリングが使用中だったためにキューに入れられた要求の総数。

区画内一時データ・キュー - MTDQGBL

「区画内一時データ・キューのモニター・データ」(MTDQGBL) ビューは、モニター対象 CICS システム内の区画内一時データ・キュー使用量に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「グローバル・リソース・モニター・ビュー」 > 「区画内一時データ・キュー」

表 39. 提供されている「区画内一時データ・キューのモニター・データ」(MTDQGBL) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMTDQGBL.DETAILED	選択した区画内一時データ・キューに関する詳細情報
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMTDQGBL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから区画内一時データ・キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMTDQGBL.RESET	区画内一時データ・キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMTDQGBL.TABULAR	区画内一時データ・キュー使用に関するテーブル形式の情報

アクション

表 40. MTDQGBL ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから区画内一時データ・キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。
RESET	区画内一時データ・キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。

フィールド

表 41. MTDQGBL ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
区画内アクセス数	ACCESSCNT	区画内バッファがアクセスされた回数。
区画内バッファ数	BUFFERS	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT 指定変更で指定された区画内バッファの数。
区画内バッファ待機数	BUFFWAITS	すべてのバッファが他のタスクに割り振られていたために、要求がキューに入れられた回数です。
制御間隔数	CINUM	現在アクティブな制御インターバルの数。
制御間隔サイズ	CISIZE	コントロール間隔のサイズ (バイト)。
現行サンプルに対する区画内アクセス比率	CURACCCNT	最後のサンプル期間中に、区画内バッファがアクセスされた比率。
現在のバッファ待機数	CURBUFFWAIT	使用可能なバッファがないためにキューに入れられた要求の現行数。
有効データを持つ現在のバッファ数	CURBUFVALDA	有効なデータを含む区画内バッファの現行数。
現在の同時バッファ・アクセス数	CURCONBUFAC	同時区画内バッファ・アクセスの現行数。
現在の同時ストリング・アクセス数	CURCONSTRAC	システムで並行してアクセスされたストリングの現行数。
現行サンプルに対するバッファが満杯の平均時間	CURFULLPER	最後のサンプル期間中に、READ または WRITE 要求が NOSPACE 状態を検出した時のパーセント。
現行サンプルに対する読み取り比率	CURREADRATE	最後のサンプル期間中に、制御インターバルの READ 要求が発行された比率。
現在のストリング待機数	CURSTRWAITS	システムで同時にあるストリング待ちの現行数。
現行サンプルに対する書き込み比率	CURWRITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求が一時データ・セットに発行された比率。

表 41. MTDQGBL ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
フォーマット書き込み数	FMTWRITE	使用可能なスペースの量を増やすためにデータ・セットの末尾に新しい制御インターバルが書き込まれた回数。
モニター間隔に対する区画内アクセス比率	INTACCCNT	モニター・インターバル全体で、区画内バッファがアクセスされた平均比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター・インターバルの ID。
モニター間隔に対するバッファが満杯の平均時間	INTFULLPER	モニター・インターバル全体で、READ または WRITE 要求が NOSPACE 状態を検出した時の平均パーセント。
モニター間隔に対する読み取り比率	INTREADRATE	モニター・インターバル全体で、制御インターバルの READ 要求が発行された平均比率。
モニター間隔に対する書き込み比率	INTWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求が一時データ・セットに発行された平均比率。
I/O エラー数	IOERRS	一時データ・セットで発生した入出力エラーの数。
NOSPACE の発生回数	NOSPACENT	NOSPACE 状態が検出された回数。
使用中の制御間隔数	NUMCTRLINTV	区画内データ・セットDFHINTRA内のコントロール間隔の現行数。
区画内バッファのピーク待機数	PEAKBWAIT	使用可能なバッファがなかったために、キューに入れられた要求のピーク数。
同時区画内アクセスのピーク数	PEAKCACCESS	1 時点での区画内バッファ・アクセスのピーク数。
使用制御間隔のピーク数	PEAKCIUSE	1 時点でアクティブな制御インターバルのピーク数。
データをもつキューのピーク数	PEAKQACTV	有効なデータが入っている区画内バッファのピーク数。
同時ストリング・アクセスのピーク数	PEAKSTRACC	1 時点でアクセスされているストリングのピーク数。
ストリング待機のピーク数	PEAKSTRWAIT	1 時点でストリングを待機しているタスクのピーク数。
データ・セットからの読み取り回数	READS	制御インターバルをディスクから読み取る必要があった回数。
ストリング・アクセス回数	STRACCESS	ストリングがアクセスされた回数。
ストリング数	STRINGS	現在アクティブなストリングの総数。
ストリング待機数	STRNGWAITS	使用可能なストリングがないためにタスクが待機する必要があった回数。
データ・セットに対する書き込み数	WRITES	一時データ・セットに対する WRITE 入出力要求の数。

一時記憶域 - MTSQGBL

「一時記憶域のモニター・データ」(MTSQGBL) ビューは、モニター対象 CICS システム内の一時記憶域キュー使用量に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時記憶域キュー・モニター・ビュー」 > 「一時記憶域」

表 42. 提供されている「一時記憶域のモニター・データ」(MTSQGBL) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.DETAILED	選択した一時記憶域キューに関する詳細情報
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから一時記憶域キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.RESET	一時記憶域キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.TABULAR	一時記憶域キュー使用に関するテーブル形式の情報

アクション

表 43. MTSQGBL ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから一時記憶域キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。
RESET	一時記憶域キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 44. MTSQGBL ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
Times auxiliary storage exhausted (補助記憶域を使い果たした回数)	AUXFULL	使用可能な補助一時ストレージがなかったために 1 つ以上のトランザクションが中断状態になった回数。
一時記憶バッファ数	BUFFERS	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT オーバーライドで指定された一時記憶域バッファの数。
バッファ待ち回数	BUFFWAITS	すべてのバッファが他のタスクに割り振られていたために、要求がキューに入れられた回数です。
Buffer reads (バッファ読み取り数)	BUFREADS	制御インターバルをディスクから読み取る必要があった回数。
Buffer writes (バッファ書き込み数)	BUFWITES	一時ストレージ・データ・セットへの WRITE 入出力要求の数。
Available bytes per control interval (制御間隔当たりの使用可能バイト数)	BYTESPERCI	制御インターバル (CI) ごとに使用可能なバイト数。
Bytes per segment (セグメントあたりのバイト数)	BYTESPERSEG	制御インターバル (CI) ごとに使用可能なバイト数。
データ・セット中の制御間隔数	CINUM	補助ストレージに使用可能な制御インターバルの数。
使用中の制御間隔数	CISINUSE	現在使用中の制御インターバルの数。
制御間隔サイズ	CISIZE	コントロール間隔のサイズ (バイト)。
一時記憶域圧縮回数	COMPRESSIONS	これまでに行われた圧縮の数。
現行サンプルに対する GetQ 補助記憶域の比率	CURAGETQRATE	最後のサンプル期間中に、GET/GETQ 要求が補助一時記憶域に発行された比率。

表 44. MTSQGBL ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
現行サンプルに対する PutQ 補助記憶域の比率	CURAPUTQRATE	最後のサンプル期間中に、PUT/PUTQ 要求が補助一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対するバッファ読み取り比率	CURBHITRATE	最後のサンプル期間中に、物理的入出力を行わずに GET/GETQ 要求が満たされた比率。
現行サンプルの補助記憶域が満杯になった %	CURFULLPER	最後のサンプル期間中に、使用可能な補助一時記憶域がなかったためにトランザクションが中断状態になった時のパーセント。
現行サンプルに対する GetQ 主記憶域の比率	CURMGETQRATE	最後のサンプル期間中に、GET/GETQ 要求がメイン一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対する PutQ 主記憶域の比率	CURMPUTQRATE	最後のサンプル期間中に、PUT/PUTQ 要求がメイン一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対する読み取り比率	CURREADRATE	最後のサンプル期間中に、制御インターバルの READ 要求が発行された比率。
Current users waiting on buffer (バッファで待機中の現行ユーザー数)	CURRUWBFR	バッファを現在待機しているユーザーの数。
Current users waiting on string (ストリングで待機中の現行ユーザー数)	CURRUWSTR	ストリングを現在待機しているユーザーの数。
現行サンプルに対する書き込み比率	CURWRITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求が一時記憶域データ・セットに発行された比率。
最長キュー・エンタリー	ENTLGQUE	任意の 1 つの一時記憶域キュー内のレコードのピーク数。
キュー拡張のしきい値	EXTTHRESHOLD	単一の一時記憶域グループ ID (TSGID) に保持されるレコード数。
フォーマット書き込み数	FMTWRT	使用可能なスペースの量を増やすためにデータ・セットの末尾に新しい制御インターバルが書き込まれた回数。
Get/GetQ 補助記憶域	GETQAUX	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域から取得したレコードの数。
Get/GetQ 主記憶域	GETQMAIN	アプリケーション・プログラムが主一時記憶域から取得したレコードの数。
間隔に対する GetQ 補助記憶域の比率	INTAGETQRATE	モニター・インターバル全体で、GET/GETQ 要求が補助一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対する PutQ 補助記憶域の比率	INTAPUTQRATE	モニター・インターバル全体で、PUT/PUTQ 要求が補助一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対するバッファ読み取りヒット比率	INTBHITRATE	モニター・インターバル全体で、物理的入出力を行わずに GET/GETQ 要求が満たされた平均比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の補助記憶域が満杯になった %	INTFULLPER	モニター・インターバル全体で、使用可能な補助一時記憶域がなかったためにトランザクションが中断状態になった時の平均パーセント。
間隔に対する GetQ 主記憶域の比率	INTMGETQRATE	モニター・インターバル全体で、GET/GETQ 要求がメイン一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対する PutQ 主記憶域の比率	INTMPUTQRATE	モニター・インターバル全体で、PUT/PUTQ 要求がメイン一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対する読み取り比率	INTREADRATE	モニター・インターバル全体で、制御インターバルの READ 要求が発行された平均比率。
間隔に対する書き込み比率	INTWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求が一時記憶域データ・セットに発行された平均比率。
DSN における I/O エラー数	IOERRS	一時ストレージ・データ・セットで発生した入出力エラーの数。
最長の補助レコード長	LONGAUXREC	最長の補助レコードの長さ。

表 44. MTSQGBL ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
使用している一時記憶域名の数	NAMESINUSE	現在使用中の TS の数。
使用 CI のピーク数	PEAKCIUSE	アクティブ・データを含む制御インターバルのある時点でのピーク数。
使用中のキュー名ピーク数	PEAKQUES	特定の時点で使用されている一時記憶域キューの名前のピーク数。
ストレージのピーク	PEAKSTG	ある時点で一時ストレージ・レコードのために使用されている仮想ストレージのピーク量。
使用中のピーク・ストリング数	PEAKUSDSTR	1 時点で使用中のストリングのピーク数。
Peak users waiting on buffers (バッファで待機中のピーク・ユーザー数)	PEAKUWBUF	使用可能なバッファがなかったために、キューに入れられた要求のピーク数。
ストリングで待機中のピーク・ユーザー数	PEAKUWSTR	ある時点でキューに入れられていた入出力要求のピーク数。
Put/PutQ 補助記憶域	PUTQAUZ	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域に書き込んだレコードの数。
Put/PutQ 主記憶域	PUTQMAIN	アプリケーション・プログラムが主一時記憶に書き込んだレコードの数。
Times queues created (キュー作成回数)	QUECRECNT	CICS が個々の一時記憶域キューを作成した回数。
作成されたキュー拡張	QUEXTENDS	TSGID 拡張を作成することが必要になった回数。
Segments per control interval (制御間隔当たりのセグメント数)	SEGSPERCI	制御インターバル (CI) ごとのセグメント数。
CICS が接続されている共用プールの数	SHRDPOOLCONN	現在接続されている共用プールの数。
Shared pools defined (定義済み共用プール)	SHRDPOOLDEF	定義された共用プールの数。
Shared read requests (共用読み取り要求数)	SHRDREADREQ	共用読み取り要求の数。
Shared write requests (共用書き込み要求数)	SHRDWRITEREQ	共用書き込み要求の数。
一時記憶域ストリング数	STRINGS	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT オーバーライドで指定された一時ストレージ・ストリングの数。
ストリング待機数	STRINGWAIT	使用可能なストリングがなかったために、キューに入れられた入出力要求の数。
リカバリー処理で強制されたバッファ書き込み	WRTFRECVR	キューに対して指定されているリカバリーによって生じた WRITE 入出力要求の数。
CISIZE を超える書き込み	WRTGTCISZ	制御インターバル・サイズを超える長さで書き込まれたレコードの数。

ジャーナル・モニター・ビュー

「ジャーナル・モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内のシステム・ログと一般ログに関する情報が表示されます。 注: モニター・データは、CICSplex SM によりモニターされるジャーナルにのみ使用可能です。

ジャーナル - MJRNLNAM

「ジャーナルのモニター・データ」(MJRNLNAM) ビューには、モニター対象のシステム・ログおよび一般ログに関する情報が表示されます。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「ジャーナル・モニター・ビュー」 > 「ジャーナル」

表 45. 提供されている「ジャーナルのモニター・データ」(MJRNLNAM) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
ジャーナルのモニター・データ EYUSTARTMJRNLNAM.DETAILED	選択したログに関する詳細情報
ジャーナルのモニター・データ EYUSTARTMJRNLNAM.DISCARD	現行サンプル間隔で CICSplex SM モニターからシステムまたは汎用ログを除去し、その累積統計を破棄します。
ジャーナルのモニター・データ EYUSTARTMJRNLNAM.RESET	システムまたは汎用ログに関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
ジャーナルのモニター・データ EYUSTARTMJRNLNAM.TABULAR	モニター対象システム・ログおよび一般ログに関するテーブル形式の情報

アクション

表 46. MJRNLNAM ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル間隔で CICSplex SM モニターからシステムまたは汎用ログを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	システムまたは汎用ログに関連付けられている CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 47. MJRNLNAM ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
ジャーナル名	JOURNALNAME	システムまたは汎用ログの 1 から 8 文字の名前。
バッファー・フラッシュ要求数	NUMBUFLUSH	ログ・バッファーがログ・ストリームに書き出された回数。
合計書き込みバイト数	NUMBYTES	このシステムまたは汎用ログに書き込まれた合計バイト数。
ジャーナル書き込み数	NUMWRITES	このシステムまたは汎用ログに対するジャーナル書き込み要求の数。
MVS ログ・ストリーム	STREAMNAME	システムまたは汎用ログに関連付けられている MVS ログ・ストリーム名。
ログ・ストリーム宛先	TYPE	システムまたは汎用ログに関連付けられているログ・ストリームのタイプ。

プログラム・モニター・ビュー

「プログラム・モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内のプログラムに関する情報が表示されます。 注: このモニター・データは、CICSplex SM によりモニターされるプログラムにのみ使用可能です。

プログラム - MPROGRAM

「プログラムのモニター・データ」(MPROGRAM) ビューは、モニターされるプログラムに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「プログラム・モニター・ビュー」 > 「プログラム」

表 48. 提供されている「プログラムのモニター・データ」(MPROGRAM) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
プログラムのモニター・データ EYSTARTMPROGRAM.DETAILED	選択したプログラムに関する詳細情報
プログラムのモニター・データ EYSTARTMPROGRAM.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからプログラムを除去し、その累積統計を破棄します。
プログラムのモニター・データ EYSTARTMPROGRAM.RESET	プログラムに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
プログラムのモニター・データ EYSTARTMPROGRAM.TABULAR	モニター対象プログラムに関するテーブル形式の情報

アクション

表 49. MPROGRAM ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからプログラムを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	プログラムに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 50. MPROGRAM ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
現行サンプルに対する平均取り出し時間	CURAVGFETCH	最後のサンプル期間中に、プログラムのコピーをフェッチするのにかかった平均時間。
プログラムの再使用回数の % - 現行サンプル	CURRUSEPCT	最後のサンプル期間中に、ストレージ内のプログラムのコピーを再使用してきた回数のパーセント。
現行サンプルに対するプログラム・アクセス比率	CURUSERATE	最後のサンプル期間中にプログラムが実行された比率。

表 50. MPROGRAM ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
プログラム実行キー	EXECKEY	<p>プログラムが実行しているアクセス・キー。</p> <ul style="list-style-type: none"> • CICSEXECKEY - プログラムは CICS キーで実行され、CICS キーとユーザー・キーのストレージの両方に対する読み取り権限と書き込み権限を持ちます。 • USEREXECKEY - プログラムはユーザー・キーで実行しており、ユーザー・キー・ストレージには書き込みアクセスできますが、CICS キー・ストレージについては読み取り専用アクセスです。 • NOTAPPLIC - このオプションは選択不可です。プログラムはリモートとして定義されているか、またはマップ・セットあるいは区画セットのいずれかです。
プログラムがストレージにロードされた回数	FETCHCNT	現在の CICS 統計間隔中にプログラムのコピーが DFHRPL ライブラリー連結からストレージにロードされた回数。
全プログラム取り出しの合計時間	FETCHTIME	現在の CICS 統計間隔中にプログラムの全取り出しの実行にかかる合計時間。
保留状況	HOLDSTATUS	<p>プログラムのコピーが HOLD オプション (HOLD または NOHOLD) を使用して現在ロードされているかどうかを示します。値 NOTAPPLIC は、プログラムが現在ロードされていないか、リモート・プログラムであることを表します。</p>
モニター間隔に対する平均取り出し時間	INTAVGFETCH	モニター・インターバル全体で、プログラムのコピーをフェッチするのにかかった平均時間。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
プログラムの再使用回数の % - モニター間隔	INTRUSEPCT	モニター・インターバル全体で、ストレージ内のプログラムのコピーを再使用できた回数の平均パーセント。
モニター間隔に対するプログラム・アクセス比率	INTUSERATE	モニター・インターバル全体で、プログラムが実行された平均比率。
プログラムの長さ	LENGTH	プログラムの長さ (バイト単位)。0 の値は、現行 CICS セッションにプログラムがロードされていないか、またはそれがリモート・プログラムであることを意味します。
リンク・バック域 (LPA) 状況	LPASTAT	<p>最後にロードされたプログラムのコピー元を示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • LPA - CICS は、リンク・バック域 (LPA) または拡張リンク・バック域 (ELPA) のバージョンを使用しました。 • NOTLPA - CICS は専用バージョンを使用しました。 • NOTAPPLIC - CICS は、プログラムの LPA バージョンと専用バージョンのどちらも使用していません。
発行された NEWCOPY 要求数	NEWCOPYCNT	現在の CICS 統計間隔中にこのプログラムに対して NEWCOPY 要求が発行された回数。
プログラム名	PROGRAM	プログラムの名前。
プログラム・タイプ	PROGTYPE	<p>プログラムのタイプ。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> • MAP - マップ・セット。 • PARTITION - 区画セット。 • PROGRAM - 実行可能プログラム。
プログラム圧縮による除去回数	REMOVECNT	現在の CICS 統計間隔中に動的プログラム・ストレージ圧縮 (DPSC) 機能によってこのプログラムのコピーがストレージから削除された回数。
現在のプログラム・アクセス回数	RESCOUNT	現在実行中のプログラムの別個のコピー数。
DFHRPL データ・セット番号	RPLID	DFHRPL 連結におけるプログラムの RPL データ・セットの位置。プログラムが CICS によってまだロードされていない場合は、このパラメーターは UNKNOWN を報告します。

表 50. MPROGRAM ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
共用状況	SHARESTATUS	プログラムの共用状況。次にロードされる新規コピーが、共有バージョン (SHARED) になるか、専用バージョン (PRIVATE) になるかを決定します。リモート・プログラムでは NOTAPPLIC という値が戻されます。
使用可能状況	STATUS	プログラムの使用可能状況。これは、それが使用可能かどうか (ENABLED または DISABLED) を示します。
前回リセット以降のプログラム・アクセス回数	USEAGELSTAT	現在の CICS 統計間隔中にプログラムへのアクセスが要求された回数。
プログラムの合計実行回数	USECOUNT	現在の CICS セッションでプログラムが実行された合計回数。

一時記憶域キュー・モニター・ビュー

「一時記憶域キュー・モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の一時記憶域使用および一時記憶域キューに関する情報が表示されます。注: この情報は、グローバル・リソースが CICSplex SM によりモニターされる CICS システムにのみ使用可能です。

一時記憶域 - MTSQGBL

「一時記憶域のモニター・データ」(MTSQGBL) ビューは、モニター対象 CICS システム内の一時記憶域キュー使用量に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時記憶域キュー・モニター・ビュー」 > 「一時記憶域」

表 51. 提供されている「一時記憶域のモニター・データ」(MTSQGBL) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.DETAILED	選択した一時記憶域キューに関する詳細情報
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから一時記憶域キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.RESET	一時記憶域キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。
一時記憶域のモニター・データ EYUSTARTMTSQGBL.TABULAR	一時記憶域キュー使用に関するテーブル形式の情報

アクション

表 52. MTSQGBL ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから一時記憶域キュー使用量を除去し、累積統計を破棄します。

表 52. MTSQGBL ビューで使用可能なアクション (続き)

意味	説明
RESET	一時記憶域キュー使用量に関連した CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。

フィールド

表 53. MTSQGBL ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
Times auxiliary storage exhausted (補助記憶域を使い果たした回数)	AUXFULL	使用可能な補助一時ストレージがなかったために 1 つ以上のトランザクションが中断状態になった回数。
一時記憶バッファ数	BUFFERS	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT オーバーライドで指定された一時記憶域バッファの数。
バッファ待ち回数	BUFFWAITS	すべてのバッファが他のタスクに割り振られていたために、要求がキューに入れられた回数です。
Buffer reads (バッファ読み取り数)	BUFREADS	制御インターバルをディスクから読み取る必要があった回数。
Buffer writes (バッファ書き込み数)	BUFWRITES	一時ストレージ・データ・セットへの WRITE 入出力要求の数。
Available bytes per control interval (制御間隔当たりの使用可能バイト数)	BYTESPERCI	制御インターバル (CI) ごとに使用可能なバイト数。
Bytes per segment (セグメントあたりのバイト数)	BYTESPERSEG	制御インターバル (CI) ごとに使用可能なバイト数。
データ・セット中の制御間隔数	CINUM	補助ストレージに使用可能な制御インターバルの数。
使用中の制御間隔数	CISINUSE	現在使用中の制御インターバルの数。
制御間隔サイズ	CISIZE	コントロール間隔のサイズ (バイト)。
一時記憶域圧縮回数	COMPRESSIONS	これまでに行われた圧縮の数。
現行サンプルに対する GetQ 補助記憶域の比率	CURAGETQRATE	最後のサンプル期間中に、GET/GETQ 要求が補助一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対する PutQ 補助記憶域の比率	CURAPUTQRATE	最後のサンプル期間中に、PUT/PUTQ 要求が補助一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対するバッファ読み取り比率	CURBHITRATE	最後のサンプル期間中に、物理的入出力を行わずに GET/GETQ 要求が満たされた比率。
現行サンプルの補助記憶域が満杯になった %	CURFULLPER	最後のサンプル期間中に、使用可能な補助一時記憶域がなかったためにトランザクションが中断状態になった時のパーセント。
現行サンプルに対する GetQ 主記憶域の比率	CURMGETQRATE	最後のサンプル期間中に、GET/GETQ 要求がメイン一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対する PutQ 主記憶域の比率	CURMPUTQRATE	最後のサンプル期間中に、PUT/PUTQ 要求がメイン一時記憶域に発行された比率。
現行サンプルに対する読み取り比率	CURREADRATE	最後のサンプル期間中に、制御インターバルの READ 要求が発行された比率。
Current users waiting on buffer (バッファで待機中の現行ユーザー数)	CURRUWBFR	バッファを現在待機しているユーザーの数。
Current users waiting on string (ストリングで待機中の現行ユーザー数)	CURRUWSTR	ストリングを現在待機しているユーザーの数。

表 53. MTSQGBL ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
現行サンプルに対する書き込み比率	CURWRITRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 入出力要求が一時記憶域データ・セットに発行された比率。
最長キュー・エントリー	ENTLGQUE	任意の 1 つの一時記憶域キュー内のレコードのピーク数。
キュー拡張のしきい値	EXTTHRESHOLD	単一の一時記憶域グループ ID (TSGID) に保持されるレコード数。
フォーマット書き込み数	FMTWRT	使用可能なスペースの量を増やすためにデータ・セットの末尾に新しい制御インターバルが書き込まれた回数。
Get/GetQ 補助記憶域	GETQAUX	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域から取得したレコードの数。
Get/GetQ 主記憶域	GETQMAIN	アプリケーション・プログラムが主一時記憶域から取得したレコードの数。
間隔に対する GetQ 補助記憶域の比率	INTAGETQRATE	モニター・インターバル全体で、GET/GETQ 要求が補助一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対する PutQ 補助記憶域の比率	INTAPUTQRATE	モニター・インターバル全体で、PUT/PUTQ 要求が補助一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対するバッファ読み取りヒット比率	INTBHITRATE	モニター・インターバル全体で、物理的入出力を行わずに GET/GETQ 要求が満たされた平均比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の補助記憶域が満杯になった %	INTFULLPER	モニター・インターバル全体で、使用可能な補助一時記憶域がなかったためにトランザクションが中断状態になった時の平均パーセント。
間隔に対する GetQ 主記憶域の比率	INTMGETQRATE	モニター・インターバル全体で、GET/GETQ 要求がメイン一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対する PutQ 主記憶域の比率	INTMPUTQRATE	モニター・インターバル全体で、PUT/PUTQ 要求がメイン一時記憶域に発行された平均比率。
間隔に対する読み取り比率	INTREADRATE	モニター・インターバル全体で、制御インターバルの READ 要求が発行された平均比率。
間隔に対する書き込み比率	INTWRITRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 入出力要求が一時記憶域データ・セットに発行された平均比率。
DSN における I/O エラー数	IOERRS	一時ストレージ・データ・セットで発生した入出力エラーの数。
最長の補助レコード長	LONGAUXREC	最長の補助レコードの長さ。
使用している一時記憶域名の数	NAMESINUSE	現在使用中の TS の数。
使用 CI のピーク数	PEAKCIUSE	アクティブ・データを含む制御インターバルのある時点でのピーク数。
使用中のキュー名ピーク数	PEAKQUES	特定の時点で使用されている一時記憶域キューの名前のピーク数。
ストレージのピーク	PEAKSTG	ある時点で一時ストレージ・レコードのために使用されている仮想ストレージのピーク量。
使用中のピーク・ストリング数	PEAKUSDSTR	1 時点で使用中のストリングのピーク数。
Peak users waiting on buffers (バッファで待機中のピーク・ユーザー数)	PEAKUWBUF	使用可能なバッファがなかったために、キューに入れられた要求のピーク数。
ストリングで待機中のピーク・ユーザー数	PEAKUWSTR	ある時点でキューに入れられていた入出力要求のピーク数。
Put/PutQ 補助記憶域	PUTQAUX	アプリケーション・プログラムが補助一時記憶域に書き込んだレコードの数。
Put/PutQ 主記憶域	PUTQMAIN	アプリケーション・プログラムが主一時記憶域に書き込んだレコードの数。

表 53. MTSQGBL ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
Times queues created (キュー作成回数)	QUECRECNT	CICS が個々の一時記憶域キューを作成した回数。
作成されたキュー拡張	QUEXTENDS	TSGID 拡張を作成することが必要になった回数。
Segments per control interval (制御間隔当たりのセグメント数)	SEGSPERCI	制御インターバル (CI) ごとのセグメント数。
CICS が接続されている共用プールの数	SHRDPOOLCONN	現在接続されている共用プールの数。
Shared pools defined (定義済み共用プール)	SHRDPOOLDEF	定義された共用プールの数。
Shared read requests (共用読み取り要求数)	SHRDREADREQ	共用読み取り要求の数。
Shared write requests (共用書き込み要求数)	SHRDWRITEREQ	共用書き込み要求の数。
一時記憶域ストリング数	STRINGS	システム初期設定テーブル (SIT) または SIT オーバーライドで指定された一時ストレージ・ストリングの数。
ストリング待機数	STRINGWAIT	使用可能なストリングがなかったために、キューに入れられた入出力要求の数。
リカバリー処理で強制されたバッファ書き込み	WRTFRECVR	キューに対して指定されているリカバリーによって生じた WRITE 入出力要求の数。
CISIZE を超える書き込み	WRTGTCISZ	制御インターバル・サイズを超える長さで書き込まれたレコードの数。

端末モニター・ビュー

「端末モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の端末に関する情報が表示されます。注: 「端末」ビューには、LU 6.2 接続またはモード名についての情報は表示されません。また、このビューでは LU 6.2 接続またはモード名に対してコマンドを発行することはできません。LU 6.2 接続またはモード名については、「接続」ビューを使って参照してください。このモニター・データは、CICSplex SM によりモニターされる端末にのみ使用可能です。

端末 - MTERMNL

「端末のモニター・データ」(MTERMNL) ビューは、モニターされる端末に関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「端末モニター・ビュー」 > 「端末」

表 54. 提供されている「端末のモニター・データ」(MTERMNL) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
端末のモニター・データ	選択した端末に関する詳細情報
EYUSTARTMTERMNL.DETAILED	

表 54. 提供されている「端末のモニター・データ」(MTERMNL) ビュー・セットのビュー (続き)

ビュー	注
端末のモニター・データ EYUSTARTMTERMNL.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから端末を除去し、その累積統計を破棄します。
端末のモニター・データ EYUSTARTMTERMNL.RESET	端末に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
端末のモニター・データ EYUSTARTMTERMNL.TABULAR	モニター対象端末に関するテーブル形式の情報

アクション

表 55. MTERMNL ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから端末を除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	端末に関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 56. MTERMNL ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
獲得状況	ACQSTATUS	端末が現在獲得されているか、解放されているか、または獲得する途中であることを示します。
現行サンプルに対する入力メッセージ比率	CURIMSGRATE	最後のサンプル期間中の、オペレーター始動の端末への入力の比率。
現行サンプルに対する出力メッセージ比率	CUROMSGRATE	最後のサンプル期間中に、出力メッセージが端末に書き込まれた比率。
現行サンプルに対するトランザクション比率	CURTRANRATE	最後のサンプル期間中に、トランザクションが端末で開始された比率。
デバイス・タイプ	DEVICE	TCTTE で記録された端末またはセッションのタイプ。
入力メッセージ数	INMSGCNT	オペレーターが開始した端末への入力の数。初期トランザクション入力と、端末への会話型読み取りの結果としての入力を含みます。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔に対する入力メッセージ比率	INTIMSGRATE	モニター・インターバル全体での、オペレーター始動の端末への入力の平均比率。
モニター間隔に対する出力メッセージ比率	INTOMSGRATE	モニター・インターバル全体で、出力メッセージが端末に書き込まれた平均比率。
モニター間隔に対するトランザクション比率	INTTRANRATE	モニター・インターバル全体で、トランザクションが端末で開始された平均比率。
LU 名	LUNAME	端末の VTAM 論理装置名。
ネットワーク名	NETNAME	VTAM のもとでは、この論理装置 (端末またはセッション) が認識されるための名前。このフィールドがブランクの場合は、アクセス方式が VTAM 以外であることを意味します。
出力メッセージ数	OUTMSGCNT	アプリケーション・プログラムまたは CICS のいずれかによって端末に書き込まれた出力メッセージの数。
合計パイプライン・ランナウェイ数	PMSGCNT	合計ランナウェイ数。ランナウェイはパイプライン・プール端末について入力が受け取られたものの、使用可能なものがなかったときに発生します。

表 56. MTERMNL ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
最大パイプライン・ランナウェイ数	PMSGCONSEC	ランナウェイの最大数。ランナウェイはパイプライン・プール端末について入力を受け取られたものの、使用可能なものがなかったときに発生します。
パイプライン連続ランナウェイ数	PMSGGRPCNT	連続ランナウェイ数。ランナウェイはパイプライン・プール端末について入力を受け取られたものの、使用可能なものがなかったときに発生します。
端末に送信されたポーリング回数	POLLCNT	TCAM または BSAM のもとでは、端末に送信されたポーリングの数。このフィールドがブランクの場合は、アクセス方式が TCAM でも BSAM でもないことを意味します。
リモート CICS の端末名	REMOTENAME	リモート・システムでこの端末またはセッションが認識されるための名前。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	リモート端末の場合は、端末専有領域 (TOR) へのリンクの名前。セッションの場合は、関連するリモート・システムのシステム ID。
サービス状況	SERVSTATUS	端末が現在サービス中か、サービス休止中か、またはサービスを休止する途中かを示します。
ストレージの侵害回数	STGVCNT	端末で発生した記憶保護違反の数。
端末入出力領域 (TIOA) ストレージ	STORAGE	この端末に割り振ることが許される TIOA ストレージの量。
端末 ID	TERMID	インストール済み端末定義で指定されている端末名。 ・ MTERMNLD (MTERMNL から) ・ TERMNLD (MTERMNLD から)
トランザクション・エラー数	TERRCNT	開始できなかった端末に関連するトランザクションの数。
トランザクション数	TRANCNT	端末で開始された、非会話型と疑似会話型の両方のトランザクションの数。
伝送エラー数または切断数	XERRCNT	端末の場合は記録されたエラーの数、EXCI セッションの場合は切断の数。

トランザクション・モニター・ビュー

「トランザクション・モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の CICS およびユーザー定義のトランザクションに関する情報が表示されます。注：このモニター・データは、CICSplex SM によりモニターされるトランザクションにのみ使用可能です。

ローカルまたは動的 - MLOCTRAN

「ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ」(MLOCTRAN) ビューは、モニターされるローカル・トランザクションと、ローカルに実行される動的トランザクションに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「トランザクション・モニター・ビュー」 > 「ローカルまたは動的」

表 57. 提供されている「ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ」(MLOCTRAN) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.DETAIL1	選択したトランザクションの通信要求に関する詳細情報
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.DETAIL2	選択したトランザクションの CICS BTS 要求に関する詳細情報
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.DETAIL3	選択したトランザクションの TCP/IP 使用に関する詳細情報
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.DETAILED	選択したトランザクションに関する詳細情報
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクションを除去し、その累積統計を破棄します。
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.RESET	トランザクションに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMLOCTRAN.TABULAR	モニター対象のローカルまたは動的トランザクションに関するテーブル形式の情報

アクション

表 58. MLOCTRAN ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクションを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	トランザクションに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
アクション・ミスマッチ数	ACTMISMATS	関係するリソース・マネージャー・コーディネーター (DB2、DBCTL、MRO、LU6.1、LU6.2、RMI など) が、このトランザクションについて CICS とは逆の方向に解決した強制未確定アクション解決の数。
TCTTE 割り振り要求の数	ALLOCATES	TCTTE 割り振り要求の数。
BTS 活動データ・コンテナ要求数	BAACDCCT	このトランザクションが発行した活動データ・コンテナの要求の平均回数。
BTS 獲得プロセス要求	BAACQPCT	このトランザクションが発行したプロセス/活動獲得の要求の平均回数。
BTS 活動定義要求数	BADACTCT	このトランザクションが発行した活動定義の要求の平均回数。
BTS 活動削除および取り消し要求数	BADCPACT	このトランザクションが発行した活動削除、およびプロセス/活動取り消しの要求の平均回数。
BTS 入力定義イベント要求数	BADFIECT	このトランザクションが発行した入力定義イベントの要求の平均回数。
BTS プロセス定義要求数	BADPROCT	このトランザクションが発行したプロセス定義の要求の平均回数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
BTS リンク要求数	BALKPACT	このトランザクションが発行したプロセス/活動リンクの要求の平均回数。
BTS プロセス・データ・コンテナ要求数	BAPRDCCT	このトランザクションが発行したプロセス・データ・コンテナの要求の平均回数。
BTS 実行非同期要求数	BARASYCT	非同期モードでこのトランザクションが発行したプロセス/活動実行の要求の平均回数。
BTS 再接続検索イベント要求数	BARATECT	このトランザクションが発行した検索/再接続イベントの要求の平均回数。
BTS 再開要求数	BARMPACT	このトランザクションが発行したプロセス/活動再開の要求の平均回数。
BTS リセット要求数	BARSPACT	このトランザクションが発行した Reset ACQprocess/Activity 要求の平均回数。
BTS 実行同期要求数	BARSYNCT	同期モードでこのトランザクションが発行したプロセス/活動実行の要求の平均回数。
BTS 一時停止要求	BASUPACT	このトランザクションが発行したプロセス/活動中断の要求の平均回数。
BTS タイマー関連イベント要求数	BATIAECT	このトランザクションが発行したタイマー関連イベントの要求の平均回数。このフィールドには次が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> • DEFINE TIMER EVENT • CHECK TIMER EVENT • DELETE TIMER EVENT • FORCE TIMER EVENT
BTS 合計データ・コンテナ要求数	BATOTCCT	このトランザクションが発行したデータ・コンテナの要求の平均回数。
BTS 合計イベント要求数	BATOTECT	このトランザクションが発行したイベントの要求の平均回数。
BTS 合計要求数	BATOTPCT	このトランザクションが発行したプロセス/活動の要求の平均回数。
合計 BMS 要求数	BMSCOUNT	このトランザクションが発行した、端末管理または基本マッピング・サポート (BMS) 要求の数。MAP、IN、および OUT 要求を含みます。
BMS イン要求数	BMSINCNT	BMS イン要求の数。
BMS マップ要求数	BMSMAPCNT	BMS マップ要求の数。
BMS アウト要求数	BMSOUTCNT	BMS アウト要求の数。
CDSA getmain	CDSAGETM	CDSA GETMAIN 要求の数。
CDSA プログラム・ストレージ HWM	CDSAPSHWM	CDSA 内の最大プログラム・ストレージ。
CDSA ストレージ HWM	CDSASHWM	CDSA 内でこのトランザクションによって使用されるピーク・バイト数。
CDSA 占有	CDSASOCC	CDSA 内のストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
CF データ・テーブル待ち回数	CFDTWC	トランザクションが共用一時記憶域リソースを待機した平均回数。
CF データ・テーブル待ち時間	CFDTWT	CFDT 入出力の完了を待つのに費やした平均時間。
1 次端末管理文字イン	CHARIN	受信した 1 次端末管理文字の数。
2 次端末管理文字イン	CHARINSEC	受信した 2 次端末管理文字の数。
1 次端末管理文字アウト	CHAROUT	送信された 1 次端末管理文字の数。
2 次端末管理文字アウト	CHAROUTSEC	送信された 2 次端末管理文字の数。
ディスパッチャー変更モード	CHMODECT	このトランザクションが発行した CICS ディスパッチャー TCB 変更モード要求の平均回数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
CICS 待ち回数	CICSWC	トランザクションが CICS リソースを待機した平均回数。こうした待機は、CICS リソースの内部待機の結果として生じるか、WAIT EVENT コマンドの発行の結果として生じます。
CICS 待ち時間	CICSWT	CICS リソースの待機に費やした平均時間。こうした待機は、CICS リソースの内部待機の結果として生じるか、WAIT EVENT コマンドの発行の結果として生じます。
ユーザー・タスク CPU 数	CPUCNT	ユーザー・タスクが CPU にアクセスした回数。
ユーザー・タスク CPU 時間	CPUTIME	各 CICS TCB でトランザクションがディスパッチされたプロセッサ時間の長さ。
放棄制御待ち回数	CTLWC	トランザクションが制御を他のトランザクションに引き渡した平均回数。POST、DELAY INTERVAL(0)、CHANGE PRIORITY、または SUSPEND コマンドを発行した結果として、トランザクションは制御を引き渡すことがあります。
放棄制御待ち時間	CTLWT	トランザクションが制御を他のトランザクションに引き渡した後に費やした平均時間。POST、DELAY INTERVAL(0)、CHANGE PRIORITY、または SUSPEND コマンドを発行した結果として、トランザクションは制御を引き渡すことがあります。
現行サンプルに対する平均 CPU 時間	CURAVGCPUT	最後のサンプル期間中に、トランザクションがディスパッチされたプロセッサ時間の平均。
現行サンプルの平均応答時間	CURAVGRES	最後のサンプル期間中のトランザクションの平均応答時間。
現行サンプルに対するトランザクション比率	CURTRANRATE	最後のサンプル期間中に、トランザクションが使用された比率。
DB2 接続 (TCB) 回数	DB2CONWC	DB2 データベース接続が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均回数。
DB2 接続待ち時間	DB2CONWT	DB2 データベース接続が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均時間。
DB2 ReadyQ 待ち回数	DB2RDYQC	このトランザクションが DB2 ReadyQ で待機して費やした平均回数。
DB2 ReadyQ 待ち時間	DB2RDYQW	このトランザクションが DB2 ReadyQ で待機して費やした平均時間。
DB2 合計要求数	DB2REQCT	このトランザクションが発行した DB2 データベース要求 (SQL および IFI) の平均回数。
DB2 要求待ち時間	DB2WAIT	DB2 データベース要求が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均時間。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
DB2 要求待ち回数	DB2WAITC	DB2 データベース要求が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均回数。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
文書作成要求数	DHCRECT	このトランザクションが発行した文書作成の要求の平均回数。
文書挿入要求数	DHINSCT	このトランザクションが発行した文書挿入の要求の平均回数。
文書検索要求数	DHRETCT	このトランザクションが発行した文書検索の要求の平均回数。
文書設定要求数	DHSETCT	このトランザクションが発行した文書設定の要求の平均回数。
文書合計要求数	DHTOTCT	このトランザクションが発行した文書処理の要求の平均総数。
文書作成の合計長	DHTOTDCL	このトランザクションが作成した文書の平均の長さ。
タスク・ディスパッチ数	DISPCNT	トランザクションがディスパッチされた回数。
タスク・ディスパッチ時間	DISPTIME	トランザクションがディスパッチされた経過時間。
初回ディスパッチ遅延	DSPDELAY	最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。
初回ディスパッチ遅延回数	DSPDELAYCT	最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。
ECDSA getmain	ECDSAGETM	ECDSA GETMAIN 要求の数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
ECDSA プログラム・ストレージ HWM	ECDSAPSHWM	ECDSA 内の最大プログラム・ストレージ。
ECDSA ストレージ HWM	ECDSASHWM	ECDSA のこのトランザクションで使用されるピーク・バイト数。
ECDSA 占有	ECDSASOCC	ECDSA 内のトランザクションのストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
タスク制御 ENQ 遅延時間	ENQDELAY	タスク制御エンキューの待機に費やした時間の長さ。
KC ENQ 遅延回数	ENQDELAYCT	タスク制御エンキューの待機に費やした時間の長さ。
外部待ち回数	EXTERNWC	トランザクションが CICS の外部にあるリソースを待機した平均回数。こうした待機は、WAIT EXTERNAL コマンドの発行の結果として生じるか、ファイル入出力の完了などの外部イベントを CICS が待機する結果として生じます。
外部待ち時間	EXTERNWT	CICS の外部にあるリソースを待機するために費やした平均時間。こうした待機は、WAIT EXTERNAL コマンドの発行の結果として生じるか、ファイル入出力の完了などの外部イベントを CICS が待機する結果として生じます。
例外待ち時間	EXWAIT	トランザクションが例外条件で待機した合計経過時間。
例外待ち回数	EXWAITCNT	トランザクションが例外条件で待機した回数。
ファイル追加回数	FCADDCNT	このトランザクションが発行したファイル制御の add/new レコード書き込み要求の総数。
アクセス方式要求数	FCAMCNT	アクセス方式要求の数。
ファイル・ブラウズ回数	FCBRWCNT	このトランザクションが発行したファイル制御の getnext および getprevious 要求の総数。
合計ファイル制御要求数	FCCOUNT	このトランザクションが発行したファイル制御要求の平均数。ただし、OPEN、CLOSE、ENABLE、および DISABLE 要求は除きます。
ファイル削除回数	FCDELCNT	このトランザクションが発行したファイル制御の削除要求の総数。
ファイル取得回数	FCGETCNT	このトランザクションが発行したファイル制御の get/read 要求の総数。
ファイル制御入出力待ち回数	FCIOCNT	ユーザー・トランザクションがファイル制御の入出力操作を待機した回数。
ファイル制御入出力待ち時間	FCIOTIME	入出力操作の待機に費やした時間の長さ。
ファイル・プット回数	FCPUTCNT	このトランザクションが発行したファイル制御の put/write 要求の総数。
未確定による強制アクション	FORACTINDTO	トランザクション定義が未確定待機のタイムアウト値を指定し、その値を超えたために発生した強制未確定アクション解決の数。
待ちなしによる強制アクション	FORACTNOWT	リカバリー可能リソースまたはリソース・マネージャー・コーディネーター (LU6.1、MRO、RMI、DB2、または DBCTL など) が未確定待機をサポートできなかったために発生した、強制未確定アクション解決の数。
オペレーターによる強制アクション	FORACTOPER	オペレーターが未確定解決の待機を取り消したために発生した、強制未確定アクション解決の数。
その他の理由による強制アクション	FORACTOTHER	このビューでリストされた理由以外で発生した強制未確定アクション解決の数。
トランザクション定義による強制アクション	FORACTTRNDF	トランザクション定義が未確定待機をサポートしないために発生した強制未確定アクション解決の数。
シスプレックス全体にわたる ENQ 遅延回数	GNQDELAC	グローバル・エンキューを待機してこのトランザクションが費やした平均回数。
シスプレックス全体にわたる ENQ 遅延時間	GNQDELAY	グローバル・エンキューを待機してこのトランザクションが費やした平均時間。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
間隔制御要求数	ICCOUNT	このトランザクションが発行したインターバル制御の START または INITIATE 要求の数。
合計間隔制御要求数	ICTOTCNT	インターバル制御要求の総数。これは START、CANCEL、RETRIEVE、INITIATE、および DELAY 要求の総数であり、DELAY INTERVAL(0) 要求は除外されます。 これは、このビューの他の箇所に表示される START 要求と INITIATE 要求のカウントとは異なっています。そちらのフィールドには CANCEL、RETRIEVE、または DELAY 要求の数は含まれませんが、それは CICS のすべてのリリースで使用可能です。こちらのフィールドはより多くの要求をカウントしますが、最近のリリースの CICS だけで使用可能です。
IMS 合計要求数	IMSREQCT	このトランザクションが発行した IMS データベース要求の平均回数。
IMS 要求待ち時間	IMSWAIT	IMS データベース要求が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均時間。
IMS 要求待ち回数	IMSWAITC	IMS データベース要求が完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均回数。
間隔の平均 CPU 時間	INTAVGCPUT	モニター・インターバル全体で、トランザクションがディスパッチされたプロセッサ時間の平均。
間隔の平均応答時間	INTAVGRES	モニター・インターバル全体でのトランザクションの平均応答時間。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔のトランザクション比率	INTTRANRATE	モニター・インターバル全体で、トランザクションが使用された平均比率。
間隔制御待ち回数	INTVLWC	トランザクションがインターバル制御機能の待機に入った平均回数。
間隔制御待ち時間	INTVLWT	インターバル制御機能の待機に費やした平均時間。
領域内入出力待ち回数	IRIOCNT	このトランザクションが発行した領域間入出力要求の数。
領域内入出力待ち	IRIOTIME	領域間の入出力待ちに費やした合計時間。
分離状況	ISOLATEST	トランザクションのユーザー・キーの、タスクと同じ寿命を持つストレージが、他のトランザクションのユーザー・キー・プログラムから分離されているかどうかを示しています。
J8 TCB モードの CPU カウント	J8CPUC	J8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが CPU を使用した平均回数。このモードは Java アプリケーションによって使用されます。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
J8 TCB モードの CPU 時間	J8CPUT	J8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが使用した平均 CPU 時間。このモードは Java アプリケーションによって使用されます。この属性は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
ジャーナル管理入出力待ち回数	JCIOCNT	ジャーナル管理入出力待ち回数。
ジャーナル管理入出力待ち時間	JCIOTIME	ジャーナル管理の入出力待ちに費やした合計時間。
ジャーナル出力要求数	JCUSRWCNT	トランザクションの間に発行されたジャーナル出力要求の数。
ジャーナル書き込み要求数	JNLWRTCT	このトランザクションが発行したジャーナル書き込み要求の数。
合計 JVM 中断時間	JVMSUSP	Java 仮想マシン (JVM) として実行している間に、このトランザクションが中断されて CICS に戻された経過時間。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
合計 JVM 中断時間カウント	JVMSUSPC	Java 仮想マシン (JVM) として実行している間に、このトランザクションが中断されて CICS に戻された回数。
合計 JVM 経過時間	JVMTIME	このトランザクションが Java 仮想マシン (JVM) として実行するのに費やした経過時間。中断状態の時間を含みます (JVM 中断時間を参照)。
合計 JVM 経過時間カウント	JVMTIMEC	合計 JVM 経過時間カウント。
L8 TCB モードの CPU カウント	L8CPUC	L8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが CPU を使用した平均回数。このモードを使用するのは、DB2 要求 (DB2 バージョン 6 以上であることが必要) を発行するときに CONCURRENCY=THREADSAFE として定義されているプログラムです。
L8 TCB モードの CPU 時間	L8CPUT	L8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが使用した平均 CPU 時間。このモードを使用するのは、DB2 要求 (DB2 バージョン 6 以上であることが必要) を発行するときに CONCURRENCY=THREADSAFE として定義されているプログラムです。
ローカル動的ルーティング出口ルーチンがトランザクションを実行した回数	LOCALCNT	動的トランザクション・ルーティング出口がローカル・システム上でこのトランザクションを実行することを選んだ回数。トランザクションが DYNAMIC=YES と定義されていない場合、この値はゼロです。
ロック・マネージャー待ち回数	LOCKMWC	CICS ロック・マネージャーが管理するロックを、トランザクションが待機した平均回数。
ロック・マネージャー待ち時間	LOCKMWT	CICS ロック・マネージャーが管理するロックの待機に費やした平均時間。
CICS ロガー書き込み要求数	LOGWRTCT	このトランザクションが発行した CICS ロガー書き込み要求の数。
LU6.1 入出力待ち時間	LU61WTT	LU6.1 接続またはセッションで、ユーザー・トランザクションが入出力を待機した時間の長さ。
LU6.1 入出力待ち回数	LU61WTTCT	LU6.1 接続またはセッションで、入出力を待機した平均時間。
LU6.2 入出力待ち時間	LU62WTT	LU6.2 接続またはセッションで、ユーザー・トランザクションが入出力を待機した時間の長さ。
LU6.2 入出力待ち回数	LU62WTTCT	LU6.2 接続またはセッションで、入出力を待機した平均時間。
他の TCB モードの CPU カウント	MSCPUC	このトランザクションが CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP TCB モードでディスパッチされたときに CPU を使用した平均回数。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
他の TCB モードの CPU 時間	MSCPUT	このトランザクションが CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP TCB モードでディスパッチされたときに使用した平均 CPU 時間。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
他の TCB モード・ディスパッチ回数	MSDISPC	このトランザクションが CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP TCB モードでディスパッチされた平均回数。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
他の TCB モード・ディスパッチ時間	MSDISPT	このトランザクションが CO、D2、EP、FO、JM、RO、RP、SL、SO、SP、SZ および TP TCB モードのディスパッチに費やした平均時間。JM モードは CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
1 次端末管理メッセージイン	MSGIN	受信した 1 次端末管理メッセージの数。
2 次端末管理メッセージイン	MSGINSEC	受信した 2 次端末管理メッセージの数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
1 次端末管理メッセージアウト	MSGOUT	送信された 1 次端末管理メッセージの数。
2 次端末管理メッセージアウト	MSGOUTSEC	送信された 2 次端末管理メッセージの数。
初回ディスパッチ遅延	MXTDELAY	システム・パラメーター MXT によって設定された限界に達したために、最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。
初回ディスパッチ遅延 MXT 数	MXTDELAYCT	システム・パラメーター MXT によって設定された限界に達したために、最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。
最大 TCB オープン遅延回数	MXTOTDLC	MAXOPENTCBS Open TCB 限度での待機により、このトランザクションが引き起こした平均遅延数 (フリーのオープン TCB があったものの、このタスクで使用できなかったものを含む)。オープン TCBS は: L8、J8。J8 の TCB は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
最大 TCB オープン遅延時間	MXTOTDLY	MAXOPENTCBS Open TCB 限度での待機により、このトランザクションが引き起こした平均遅延 (フリーのオープン TCB があったものの、このタスクで使用できなかったものを含む)。オープン TCBS は: L8、J8。J8 の TCB は CICS Transaction Server 5.1 以降では廃止されています。
未確定待機数	NUMINDOUBWT	未確定待機の数。
16M 未満の R/O プログラム・ストレージ HWM	PC24RHWM	読み取り専用の動的ストレージ域 (RDSA) において、16MB ライン未満でトランザクションにより使用中のプログラム・ストレージの最大量。
16M 未満の共用プログラム・ストレージ HWM	PC24SHWM	共用動的ストレージ域 (SDSA) において、16MB ライン未満でトランザクションにより使用中のプログラム・ストレージの最大量。
16M を超える共用プログラム・ストレージ HWM	PC31SHWM	拡張共用動的ストレージ域 (ESDSA) において、16MB ラインを超えてトランザクションにより使用中のプログラム・ストレージの最大量。
分散プログラム・リンク数	PCDPLCT	このトランザクションが、他の CICS システムへの CICS プログラム制御の分散プログラム・リンクを発行した平均回数。
プログラム・リンク数	PCLINKCNT	プログラム・リンク要求の数。
プログラム・ロード数	PCLOADCNT	プログラム・ロード要求の数。
プログラム取り出し待ち時間	PCLOADTM	プログラム取り出しの待ち時間。
プログラム取り出し待ち回数	PCLOADWCNT	プログラム取り出しの待機カウント。
URM リンク数	PCLURMCT	このトランザクションが発行したユーザー関連モジュールへのリンクの平均数。
プログラム XCTL 数	PCXCTLCNT	プログラム XCTL の数。
パフォーマンス・レコード・カウント	PERRECNT	このトランザクションについて、CICS/ESA モニター機能 (CMF) によって書き込まれたパフォーマンス・レコードの数。
トランザクション優先順位	PRIORITY	CICS システム内の他のトランザクションと比較した場合のこのトランザクションの優先順位。
最初のプログラム	PROGRAM	このトランザクションが開始されるときに実行される最初のプログラムの名前。
16M 未満のプログラム・ストレージ HWM	PSTG24HWM	16M 未満の最大プログラム・ストレージ。
16M を超えるプログラム・ストレージ HWM	PSTG31HWM	16M を超える最大プログラム・ストレージ。
プログラム・ストレージ HWM	PSTGHWM	全 DSA にわたる最大プログラム・ストレージ。
QR TCB モードの CPU カウント	QRCPUC	QR の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが CPU を使用した回数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
QR TCB モードの CPU 時間	QRCPUT	QR の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが使用した CPU 時間。
QR TCB モード・ディスパッチ回数	QRDISPC	このトランザクションがディスパッチされるのに QR TCB モードで費やした回数。
QR TCB モード・ディスパッチ時間	QRDISPT	このトランザクションがディスパッチされるのに QR TCB モードで費やした時間。
QR TCB モード遅延回数	QRMODDLC	ディスパッチされるのを待機してこのトランザクションが QR TCB モードに費やした回数。他の TCB モードから QR TCB モードへのスイッチバックを待機した回数を含まず。
QR TCB モード遅延時間	QRMODDLY	QR TCB モード遅延時間。
ルーティング出口ルーチンがリモートで実行した回数	REMOTEENT	動的トランザクション・ルーティング出口がリモート・システム上でこのトランザクションを実行することを選んだ回数。
リモート開始回数	REMSTARTCNT	リモート・システム上でこのトランザクションを開始しようと試みた回数。それは成功した開始の数と同じとは限りません。
累積応答時間	RESPONSE	累積のトランザクション応答時間。
再始動回数	RESTARTCNT	RE CEDA キーワードが指定されている場合、アペンド後にトランザクションが再始動した平均回数。
RLS CPU 時間のモニター数	RLSCPUCNT	RLS CPU 時間のモニター数。
RLS SRB CPU 時間	RLSCPUT	RLS SRB で費やされた CPU 時間の平均。
RLS 入出力待ちの合計時間	RLSWAIT	このトランザクションが RLS ファイル入出力を待機した経過時間。
タスク一時停止回数	RLSWAICNT	このトランザクションに対する RLS 待機の数。
合計 RMI 一時停止時間	RMISUSP	リソース・マネージャー・インターフェース (RMI) にある間に、トランザクションがディスパッチャーによって中断された時間の長さ。
合計 RMI 一時停止回数	RMISUSPCT	合計 RMI 中断カウント。
合計 RMI 経過時間	RMITIME	トランザクションがリソース・マネージャー・インターフェース (RMI) で費やした時間の長さ。
合計 RMI 経過時間回数	RMITIMECT	合計 RMI 経過カウント。
RRMS/MVS 同期点遅延回数	RRMSWAIC	RRMS/MVS との同期点調整を待機してこのトランザクションが費やした平均回数。
RRMS/MVS 同期点遅延時間	RRMSWAIT	RRMS/MVS との同期点調整を待機してこのトランザクションが費やした平均時間。
リモート・システム ID	RSYSID	静的または動的にこのトランザクションがルーティングされたリモート・システムの CICS システム ID。
同期トランザクションの実行待ち回数	RUNTRWTC	同期的に接続したトランザクションが完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均回数。
同期トランザクションの実行待ち時間	RUNTRWTT	同期的に接続したトランザクションが完了するのをこのトランザクションが待機して費やした平均時間。
S8 TCB モードの CPU カウント	S8CPUC	S8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが CPU を使用した平均回数。このモードはセキュア・ソケット呼び出しの実行時に使用されます。
S8 TCB モードの CPU 時間	S8CPUT	S8 の TCB モードでディスパッチされたときにこのトランザクションが使用した平均 CPU 時間。このモードはセキュア・ソケット呼び出しの実行時に使用されます。
16M 未満の共用ストレージ解放バイト	SC24FSHR	CDSA または SDSA において、16MB ライン未満でこのトランザクションが FREEMAIN した共用ストレージのバイト数。
16M 未満の共用ストレージ獲得バイト	SC24GSHR	CDSA または SDSA において、16MB ライン未満でこのトランザクションが GETMAIN した共用ストレージのバイト数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
16M 未満の共用ストレージ要求	SC24SGCT	CDSA または SDSA において、16MB ライン未満の共用ストレージに対してこのトランザクションが発行した GETMAIN 要求の数。
16M を超える共用ストレージ解放バイト	SC31FSHR	ECDSA または ESDSA において、16MB ラインを超えてこのトランザクションが FREEMAIN した共用ストレージのバイト数。
16M を超える共用ストレージ獲得バイト	SC31GSHR	ECDSA または ESDSA において、16MB ラインを超えてこのトランザクションが GETMAIN した共用ストレージのバイト数。
16M を超える共用ストレージ getmain	SC31SGCT	ECDSA または ESDSA において、16MB ラインを超えた共用ストレージに対してこのトランザクションが発行した GETMAIN 要求の数。
共用一時記憶域待ち回数	SHDTSWC	トランザクションが共用一時記憶域リソースを待機した平均回数。
共用一時記憶域待ち時間	SHDTSWT	共用一時記憶域リソースの待機に費やした平均時間。
暗号化解除ソケット・バイト数	SOBYDECT	このトランザクションによって暗号化解除され、TCP/IP ソケット・インターフェース上で渡された平均バイト数。
暗号化ソケット・バイト数	SOBYENCT	このトランザクションによって暗号化され、TCP/IP ソケット・インターフェース上で渡された平均バイト数。
ソケット入出力待ち回数	SOIOWTC	ソケット送信または受信が完了するのを待機してこのトランザクションが費やした平均回数。 この数値には、このトランザクションが SO、SL、S8 の TCB モードで待機した回数が含まれます。
ソケット入出力待ち時間	SOIOWTT	ソケット送信または受信が完了するのを待機してこのトランザクションが費やした平均時間。 この時間には、このトランザクションが SO、SL、S8 の TCB モードで費やした時間が含まれます。
CF データ・テーブル・サーバー同期点待ち回数	SRVSPWC	トランザクションが CFDT 同期点の完了を待機した平均回数。
CF サーバー同期点待ち時間	SRVSPWT	CFDT 同期点の完了を待つのに費やした平均時間。
使用可能状況	STATUS	トランザクションの使用可能状況。これは、それが使用可能かどうかを示します。
ストレージの侵害回数	STGVCNT	CICS ストレージ管理によって検出された、このトランザクションの記憶保護違反の平均回数。
タスク一時停止回数	SUSPCNT	トランザクションがディスパッチャーによって中断された回数。
タスク一時停止時間	SUSPTIME	トランザクションがディスパッチャーによって中断されたために生じた待ち時間。以下の時間が含まれます。 <ul style="list-style-type: none"> 最初のディスパッチを待っていた時間 タスクの中断 (待ち) 時間 中断されていたタスクの再開後に再ディスパッチを待っていた時間
同期点要求数	SYNCCOUNT	トランザクションの間に発行された SYNCPOINT 要求の数。
親同期点待ち遅延時間	SYNCDLY	このトランザクションが (その更新がコミットされるように) その親トランザクションを同期点まで待機するのに費やした平均時間。
親同期点遅延待ち回数	SYNCDLYC	このトランザクションが (その更新がコミットされるように) その親トランザクションを同期点まで待機するのに費やした平均回数。
同期点要求処理の合計時間	SYNCTIMCNT	このトランザクションが同期点要求を処理した回数。
同期点待ち時間	SYNCTIME	このトランザクションがディスパッチされ、同期点要求を処理して経過した合計時間。
FEPI 割り振りタイムアウト回数	SZALLCTO	会話の割り振りを待っている間にユーザー・トランザクションがタイムアウトになった回数。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
FEPI 割り振り数	SZALLOCT	FEPI ALLOCATE POOL または FEPI CONVERSE POOL 要求の結果として、ユーザー・トランザクションが割り振った会話の数。
FEPI 受信文字数	SZCHRIN	FEPI を介してユーザー・トランザクションが受信した文字数。
FEPI 送信文字数	SZCHROUT	FEPI を介してユーザー・トランザクションが送信した文字数。
FEPI 受信数	SZRCVCT	ユーザー・トランザクションによって行われる FEPI RECEIVE 要求の数。
FEPI 受信タイムアウト回数	SZRCVTO	データの受信を待っている間にユーザー・トランザクションがタイムアウトになった回数。
FEPI 送信数	SZSENDCT	ユーザー・トランザクションにより行われた FEPI SEND および FEPI CONVERSE 要求の数。
FEPI 開始回数	SZSTRCT	ユーザー・トランザクションにより行われた FEPI START 要求の数。
合計 FEPI 要求数	SZTOTCT	ユーザー・トランザクションにより行われた FEPI API および SPI 要求の総数。
FEPI 一時停止時間	SZWAIT	ユーザー・トランザクションがすべての FEPI サービスの待機に費やした合計時間。
FEPI 一時停止時間回数	SZWAITCT	ユーザー・トランザクションが FEPI サービスを待機した回数。
ディスパッチャー TCB 接続数	TCBATTCT	このトランザクションが発行した CICS ディスパッチャー TCB 接続の平均回数。
LU6.2 2 次端末管理文字イン	TCC62IN2	ユーザー・トランザクションによって基本端末ファシリティから受信した文字数。
LU6.2 2 次端末管理文字アウト	TCC62OU2	ユーザー・トランザクションによって基本端末ファシリティに送信した文字数。
端末管理入出力待ち回数	TCIOCNT	端末管理の入出力待ちカウント。
端末管理入出力待ち時間	TCIOTIME	端末管理の入出力待ち時間。
初回ディスパッチ遅延 - トランザクション・クラス	TCLDELAY	トランザクション・クラスに設定された限界に達したために、最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。
初回ディスパッチ遅延回数	TCLDELAYCT	トランザクション・クラスに設定された限界に達したために、最初のディスパッチの待機に費やした時間の長さ。
LU6.2 2 次端末管理メッセージイン	TCM62IN2	LU6.2 の 2 次端末ファシリティから受信したメッセージの数。
LU6.2 2 次端末管理メッセージアウト	TCM62OU2	LU6.2 の 2 次端末ファシリティに送信したメッセージの数。
合計一時データ要求数	TD COUNT	このトランザクションが発行した一時データ要求の平均数。GET、PUT、および PURGE 要求を含みます。
一時データ取得回数	TDGETCNT	一時データ取得要求の数。
一時データ入出力待ち回数	TDIOCNT	一時データ入出力要求の数。
一時データ入出力待ち時間	TDIOTIME	このトランザクションが一時データを待機した経過時間。
一時データ・パーズ回数	TDPURCNT	一時データ・パーズ要求の数。
一時データ・プット回数	TDPUTCNT	一時データ・プット要求の数。
端末 ID	TERMID	このトランザクションに関連付けられた端末 ID。
端末ストレージ	TERMSTG	トランザクションに関連する端末に割り振られた端末ストレージ (TIOA) の平均量。
MVS DS ストレージ制約待ち時間	TMRDSCWT	MVS DS ストレージ制約待ち時間。
トランザクション・クラス名	TRANCLASS	8 文字のトランザクション・クラス名。
トランザクション	TRANID	4 文字のトランザクション名。

表 59. MLOCTRAN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
合計一時記憶域要求数	TSCOUNT	このトランザクションが発行した一時記憶域要求の平均数。GET、PUT、および PURGE 要求を含みます。
一時記憶域の取得数	TSGETCNT	一時記憶域取得要求の数。
一時記憶域入出力待ち回数	TSIOCNT	一時記憶域の入出力待ちカウント。
一時記憶域入出力待ち時間	TSIOTIME	一時記憶域の入出力待ち時間。
補助記憶域への TS 書き込み数	TSPUTACNT	補助記憶域への TS 書き込み数。
主記憶域への TS 書き込み数	TSPUTMCNT	主記憶域への TS 書き込み数。
使用回数	USECOUNT	最後のモニター間隔中に、トランザクションが使用された回数。
16M 未満のプログラム・ストレージ HWM	USRP24HWM	16MB ライン未満でトランザクションにより使用中のプログラム・ストレージの最大量。
16M を超えるプログラム・ストレージ HWM	USRP31HWM	16MB ラインを超えてトランザクションにより使用中のプログラム・ストレージの最大量。
16M 未満のユーザー getmain 数	USTG24CNT	16M 未満のユーザー GETMAIN 要求の数。
16M 未満のユーザー・タスク・ストレージ HWM	USTG24HWM	16M 未満のユーザー・タスク・ストレージのピーク・バイト数。
16M 未満のユーザー・タスク・ストレージ占有	USTG24OCC	16M ライン未満のユーザー・タスクのストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
16M を超えるユーザー getmain 数	USTG31CNT	16M を超えるユーザー GETMAIN 要求の数。
16M を超えるユーザー・タスク・ストレージ HWM	USTG31HWM	16MB ラインを超えるユーザー・タスク・ストレージのピーク・バイト数。
16M を超えるユーザー・タスク・ストレージ占有	USTG31OCC	16B ラインを超えるユーザー・タスクのストレージ占有。これは、経過時間に対する使用中ストレージの曲線の下側領域を測定します。
ディスパッチ待ち回数	WAITCNT	トランザクションが再ディスパッチを待機した回数。
ディスパッチ待ち時間	WAITTIME	トランザクションが再ディスパッチを待つのに費やした時間。
WEB 受信文字数	WBCHRIN	このトランザクションが発行した WEB 受信の結果として、WEB 経由で受信した平均文字数。
WEB 送信文字数	WBCHROUT	このトランザクションが発行した WEB 送信の結果として、WEB 経由で送信した平均文字数。
WEB 受信要求数	WBRCVCT	このトランザクションが発行した WEB 受信の要求の平均回数。
WEB リポジットリー書き込み回数	WBREPWCT	このトランザクションが発行した WEB リポジットリー書き込み要求の平均回数。
WEB 送信要求数	WBSENDCT	このトランザクションが発行した WEB 送信の要求の平均回数。
WEB 合計要求数	WBTOTCT	このトランザクションが発行した WEB 要求の平均総数。これには、Web リポジットリー書き込み要求の数は含まれません。

リモート - MREMTRAN

「リモート・トランザクションのモニター・データ」(MREMTRAN) ビューは、モニターされるリモート・トランザクションに関する情報を表示します。リモート・トランザクションとは、ローカル CICS システムに対して定義されているものの、別の CICS システムにあるトランザクションです。動的トランザクションの場合、リモート名とシステム ID はトランザクションが実行される場所を反映します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「トランザクション・モニター・ビュー」 > 「リモート」

表 60. 提供されている「リモート・トランザクションのモニター・データ」(MREMTRAN) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
リモート・トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMREMTRAN.DETAILED	選択したトランザクションに関する詳細情報
リモート・トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMREMTRAN.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクションを除去し、その累積統計を破棄します。
リモート・トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMREMTRAN.RESET	トランザクションに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
リモート・トランザクションのモニター・データ EYUSTARTMREMTRAN.TABULAR	モニター対象リモート・トランザクションに関するテーブル形式の情報

アクション

表 61. MREMTRAN ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからトランザクションを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	トランザクションに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 62. MREMTRAN ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
現行サンプルの平均応答時間	CURAVGRES	最後のサンプル期間中のトランザクションの平均応答時間。 応答時間は、トランザクションに入ってから、要求側に応答を返すまでで測定されます。
現行サンプルに対するトランザクション比率	CURTRANRATE	最後のサンプル期間中に、トランザクションが使用された比率。
モニター間隔に対する平均応答時間	INTAVGRES	モニター・インターバル全体でのトランザクションの平均応答時間。 応答時間は、トランザクションに入ってから、要求側に応答を返すまでで測定されます。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
モニター間隔に対するトランザクション比率	INTTRANRATE	モニター・インターバル全体で、トランザクションが使用された平均比率。
領域内待ち時間	IRIOTIME	トランザクションが、領域間通信 (IRC) リンクのこちら側での制御を待つのに費やした時間の長さ。
リモートでトランザクションが実行された回数	REMOTECNT	動的トランザクション・ルーティング出口がリモート・システム上でこのトランザクションを実行することを選んだ回数。
リモート・トランザクション ID	REMOTENAME	このトランザクションがリモート・システムで認識されるための名前。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	リモート・トランザクションがある CICS システムのシステム ID。

表 62. MREMTTRAN ビューのフィールド (続き)

フィールド	属性名	説明
トランザクション開始回数	REMSTARTCNT	リモート・システム上でこのトランザクションを開始しようと試みた回数。それは成功した開始の数と同じとは限りません。
応答時間	RESPTIME	トランザクションに入ってから、要求側に応答を返すまでにかかった時間の長さ。
トランザクション・クラス名	TRANCLASS	8 文字のトランザクション・クラス名。
トランザクション	TRANID	ローカル CICS システムに認識されているトランザクションの名前。
トランザクションが使用された回数	USECOUNT	トランザクションが使用された回数。

一時データ・キュー・モニター・ビュー

「一時データ・キュー (TDQ) モニター」ビューには、現行コンテキストおよびスコープ内の区画内および区画外の一時データ・キューに関する情報が表示されます。「一時データ・キュー」ビューの使用可能性に関する詳細は、各ビュー記述を参照してください。

間接 - MINDTDQ

「間接一時データ・キューのモニター・データ」(MINDTDQ) ビューは、モニターされる間接一時データ・キューに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時データ・キュー・モニター・ビュー」 > 「間接」

表 63. 提供されている「間接一時データ・キューのモニター・データ」(MINDTDQ) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
間接一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMINDTDQ.DETAILED	選択したトランザクションに関する詳細情報
間接一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMINDTDQ.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから間接一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
間接一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMINDTDQ.RESET	間接一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
間接一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMINDTDQ.TABULAR	モニター対象間接一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 64. MINDTDQ ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから間接一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。

表 64. MINDTDQ ビューで使用可能なアクション (続き)

意味	説明
RESET	間接一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。

フィールド

表 65. MINDTDQ ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
現行サンプルの出力比率	CUROUTQRATE	最後のサンプル期間中に一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された比率。
間接キュー名	INDIRECTNAME	この間接キューが指し示すキューの名前。
間接キュー・タイプ	INDIRECTTYPE	この間接キューが指し示すキューが、区画内、区画外、リモート、または間接のいずれであるかを示します。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の出力比率	INTOUTQRATE	モニター・インターバル全体で、一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された平均比率。
I/O 要求数	OUTCNT	間接一時データ・キューに対して行われた READ、WRITE および DELETE の数。
キュー ID	TDQUEUE	一時データ・キューの名前。

区画内 - MNTRATDQ

「区画内一時データ・キューのモニター・データ」(MNTRATDQ) ビューは、モニターされる区画内一時データ・キューに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時データ・キュー・モニター・ビュー」 > 「区画内」

表 66. 提供されている「区画内一時データ・キューのモニター・データ」(MNTRATDQ) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMNTRATDQ.DETAILED	選択した区画内一時データ・キューに関する詳細情報
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMNTRATDQ.DISCARD	
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMNTRATDQ.RESET	区画内一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。
区画内一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMNTRATDQ.TABULAR	モニター対象区画内一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 67. MNTRATDQ ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから区画内一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	区画内一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 68. MNTRATDQ ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
ATI 機能	ATIFACILITY	自動トランザクション開始 (ATI) キューの場合、トリガー・レベルに達したときに開始されるトランザクションが、端末に関連付けられるかどうか (TERMINAL または NOTERMINAL) を示します。
ATI 端末 ID	ATITERMID	自動トランザクション開始 (ATI) が発生したときに、このキューに関連付けられる端末またはセッションの名前。ATI トランザクションが端末またはセッションを必要としない場合は、このフィールドはブランクです。
ATI トランザクション ID	ATITRANID	自動トランザクション開始 (ATI) トリガー・レベルに達したときに開始されるトランザクションの名前。
ATI ユーザー ID	ATIUSERID	端末に関連付けられていない、一時データのトリガー・レベル・トランザクションのユーザー ID を指定します。
現行サンプルの出力比率	CUROUTQRATE	最後のサンプル期間中に、WRITE 要求が一時データ・キューに発行された比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の出力比率	INTOUTQRATE	モニター・インターバル全体で、WRITE 要求が一時データ・キューに発行された平均比率。
項目数	NUMITEMS	キュー内のレコードの論理数。
I/O 要求数	OUTCNT	区画内一時データ・キューに対して行われた READ、WRITE、および DELETE の数。
使用可能状況	STATUS	キューがアプリケーションからアクセス可能かどうか (ENABLED または DISABLED) を示します。
キュー ID	TDQUEUE	一時データ・キューの名前。
トリガー・レベル	TRIGGERLEVEL	自動トランザクション開始 (ATI) が発生するために、その前に必要とされるキューへの出力の要求数。

リモート - MREMTDQ

「リモート一時データ・キューのモニター・データ」(MREMTDQ) ビューは、モニターされるリモート一時データ・キューに関する情報を表示します。リモート一時データ・キューは、ローカル CICS システムに定義されるキューですが、別の CICS システムにあります。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時データ・キュー・モニター・ビュー」 > 「リモート」

表 69. 提供されている「リモート一時データ・キューのモニター・データ」(MREMTDQ) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
リモート一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMREMTDQ.DETAILED	選択したリモート一時データ・キューに関する詳細情報
リモート一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMREMTDQ.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからリモート一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
リモート一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMREMTDQ.RESET	リモート一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。
リモート一時データ・キューのモニター・データ EYUSTARTMREMTDQ.TABULAR	モニター対象リモート一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 70. MREMTDQ ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターからリモート一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	リモート一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンタを 0 にリセットします。

フィールド

表 71. MREMTDQ ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
現行サンプルの出力比率	CUROUTQRATE	最後のサンプル期間中に一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された比率。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の出力比率	INTOUTQRATE	モニター・インターバル全体で、一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された平均比率。
I/O 要求数	OUTCNT	リモート一時データ・キューに対して行われた READ、WRITE、および DELETE の数。
Remote name (リモート名)	REMOTENAME	リモート・システムでこの一時データ・キューが認識されるための名前。
リモート・システム名	REMOTESYSTEM	一時データ・キューがあるリモート CICS システムのシステム ID。
キュー ID	TDQUEUE	ローカル CICS システムに認識されている一時データ・キューの名前。

区画外 - MXTRATDQ

「区画外一時データ・キューのモニター・データ」(MXTRATDQ) ビューは、モニターされる区画外一時データ・キューに関する情報を表示します。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「モニター・ビュー」 > 「一時データ・キュー・モニター・ビュー」 > 「区画外」

表 72. 提供されている「区画外一時データ・キューのモニター・データ」(MXTRATDQ) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
区画外一時データ・キューのモニター・データ EYSTARTMXTRATDQ.DETAILED	選択した区画外一時データ・キューに関する詳細情報
区画外一時データ・キューのモニター・データ EYSTARTMXTRATDQ.DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから区画外一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
区画外一時データ・キューのモニター・データ EYSTARTMXTRATDQ.RESET	区画外一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。
区画外一時データ・キューのモニター・データ EYSTARTMXTRATDQ.TABULAR	モニター対象区画外一時データ・キューに関するテーブル形式の情報

アクション

表 73. MXTRATDQ ビューで使用可能なアクション

意味	説明
DISCARD	現行サンプル・インターバルについて、CICSplex SM モニターから区画外一時データ・キューを除去し、その累積統計を破棄します。
RESET	区画外一時データ・キューに関連した CICSplex SM 統計カウンターを 0 にリセットします。

フィールド

表 74. MXTRATDQ ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
現行サンプルの出力比率	CUROUTQRATE	最後のサンプル期間中に一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された比率。
使用可能状況	ENABLESTATUS	キューがアプリケーションからアクセス可能かどうかを示します。
間隔 ID	INTERVALID	モニター間隔の ID。
間隔の出力比率	INTOUTQRATE	モニター・インターバル全体で、一時データ・キューに対して READ および WRITE 要求が発行された平均比率。
オープン状況	OPENSTATUS	キューがオープン、クローズ、または中間状態のいずれであるかを示します。
読み取りおよび書き込み要求数	OUTCNT	出力データ・セットへの WRITE または入力データ・セットからの READ の数。
キュー ID	TDQUEUE	一時データ・キューの名前。

第 3 章 ヒストリー・ビュー

「ヒストリー・ビュー」を使って、CICS ヒストリー・データを扱えます。

タスク・ヒストリー・コレクション - MASHIST

「CICS 領域のヒストリー収集」(MASHIST) ビューには、CICS 領域の CICSplex SM ヒストリー・レコードの状況に関する情報が表示されます。ヒストリカル・タスク・データのサポートは、CICSplex SM リソース・モニターを基にしています。MTRAN というモニター・リソース・クラスと共にモニター定義をインストールして、ヒストリカル・タスク・データを保存する対象となるトランザクションの ID を指定する必要があります。また、VSAM データ・セットを定義し、DD カードを使用して MAS 領域に割り振り、所要のモニター機能パラメーターを設定する必要があります。

提供されるビュー

メインメニューからアクセスするには、

「ヒストリー・ビュー」 > 「ヒストリー・ビュー」 > 「タスク・ヒストリー・コレクション」

表 75. 提供された「MAS ヒストリー」(MASHIST) ビュー・セットのビュー

ビュー	注
MAS ヒストリー EYUSTARTMASHIST.DETAILED	CICS 領域のヒストリー・レコードの現在状況に関する詳細情報
MAS ヒストリー EYUSTARTMASHIST.RESUME	CICS 領域用の CICSplex SM ヒストリー・レコードを再開します。CICS 領域のヒストリーの記録が現在中断状態にある場合、それが再開され、再度アクティブになります。
MAS ヒストリー EYUSTARTMASHIST.SUSPEND	CICS 領域用の CICSplex SM ヒストリー・レコードを中断します。その領域のヒストリーの記録を再開するアクションが実行されるまで、それ以上のヒストリカル・タスク・レコードは収集されません。
MAS ヒストリー EYUSTARTMASHIST.TABULAR	CICS 領域のヒストリー・レコードの現在状況に関するテーブル形式の情報

アクション

表 76. MASHIST ビューで使用可能なアクション

意味	説明
RESUME	CICS 領域用の CICSplex SM ヒストリー・レコードを再開します。CICS 領域のヒストリーの記録が現在中断状態にある場合、それが再開され、再度アクティブになります。
SUSPEND	CICS 領域用の CICSplex SM ヒストリー・レコードを中断します。その領域のヒストリーの記録を再開するアクションが実行されるまで、それ以上のヒストリカル・タスク・レコードは収集されません。

フィールド

表 77. MASHIST ビューのフィールド

フィールド	属性名	説明
現行データ・セットの接尾部	CDSSUF	CICS 領域のヒストリー・データが含まれる現在の VSAM KSDS データ・セットの接尾部
現在のデータ・セットにおけるレコード数	CRECCNT	現在のヒストリー・データ・セット内のレコード数。
現在のデータ・セットがラップされた回数	CWRAPCNT	現在のヒストリー・データ・セットがラップされた回数。 データ・セットは一杯になるとラップされます。
ヒストリー・データ・セットの数	HDSCOUNT	使用できるヒストリー・データ・セット数。
ヒストリー理由コード	REASON	<p>ヒストリー・データ・レコーダー・タスクからの理由コード。 値は以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> • IOERROR - EYUHISTx データ・セットからの読み取り中に予期しないエラーが発生しました。 原因として考えられるのは、ファイル定義に関する問題、または、MAS ヒストリー・レコーダー機能に関連する CICSplex SM EYUPARM への照会に関する問題です。 • INVALIDFILE - EYUHISTx データ・セットの 1 つ以上の属性を、MAS ヒストリー・レコーダー機能で受け入れることができません。 • OK - MAS ヒストリー・レコーダーは作動可能です。 • NOTAVAILABLE - MAS ヒストリー・レコーダーは、少なくとも 2 つの EYUHISTx ヒストリー・データ・セットがないと、ヒストリーを記録できるようになりません。
ヒストリー・レコーダー状況	STATUS	<p>ヒストリカル・データ・レコーダー・タスクが、以下のいずれかの状態にあるかどうかを示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ACTIVE - MAS ヒストリー・レコーダーを使用してタスク・レコードを記録できます。 • INACTIVE - MAS ヒストリー・レコーダーを使用してタスク・レコードを記録することはできません。 • SUSPEND - MAS ヒストリー・レコーダーは、一時的にタスク・レコードを記録できなくなっています。 • SUSPENDING - MAS ヒストリー・レコーダーは、SUSPEND 状態に移行中です。 タスク・レコードは記録されなくなっています。 レコーダーが次のタスク・レコードを受け取ると、レコーダーの STATUS フィールドが SUSPEND に変わります。 • RESUMING - MAS ヒストリー・レコーダーは再度タスク・レコードの記録を開始しています。 レコーダーが次のタスク・レコードを受け取ると、レコーダーの STATUS フィールドが ACTIVE に変わります。
現行レコーダーのタスク ID	TASKNO	ヒストリー・レコーダー・タスクの ID。

特記事項

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料の他の言語版を IBM® から入手できる場合があります。ただし、これを入手するには、本製品または当該言語版製品を所有している必要がある場合があります。

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。IBM 製品、プログラムまたはサービスに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない機能的に同等のプログラムまたは製品を使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510

東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

日本アイ・ビー・エム株式会社

法務・知的財産

知的財産権ライセンス渉外

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態で提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様自身の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*IBM Director of Licensing
IBM Corporation
North Castle Drive, MD-NC119 Armonk,
NY 10504-1785
United States of America*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者にお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名前はすべて架空のものであり、類似する個人や企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

プログラミング・インターフェース情報

CICS には、プログラミング・インターフェースと見なすことのできる資料と、プログラミング・インターフェースと見なすことのできない資料があります。

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS[®], バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが含まれています。

- アプリケーションの開発
- システム・プログラムの開発
- 保護の概要
- 外部インターフェースに向けた開発
- リファレンス: アプリケーション開発
- リファレンス: システム・プログラミング
- リファレンス: 接続

オンライン製品資料の以下のセクションには、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェースとして意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が含まれています。

- トラブルシューティングおよびサポート
- リファレンス: 診断

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のサービスを取得するプログラムをお客様が作成するためのプログラミング・インターフェースが以下のマニュアルに含まれています。

- アプリケーション・プログラミング・ガイドおよびアプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Business Transaction Services
- Customization Guide
- C++ OO Class Libraries
- Debugging Tools Interfaces Reference
- Distributed Transaction Programming Guide
- External Interfaces Guide
- Front End Programming Interface Guide
- IMS Database Control Guide
- インストール・ガイド
- セキュリティー・ガイド
- Supplied Transactions
- CICSplex SM Managing Workloads
- CICSplex SM Managing Resource Usage
- CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・ガイドおよび CICSplex SM アプリケーション・プログラミング・リファレンス
- Java[™] Applications in CICS

PDF 形式のマニュアルで CICS 資料にアクセスする場合は、CICS Transaction Server for z/OS, バージョン 5 リリース 5 のプログラミング・インターフェース

として意図されていない (プログラミング・インターフェースと誤解される可能性のある) 情報が以下のマニュアルに含まれています。

- Data Areas
- Diagnosis Reference
- Problem Determination Guide
- CICSplex SM Problem Determination Guide

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml)[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標または登録商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

Adobe、Adobe ロゴ、PostScript、PostScript ロゴは、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

インテル、Intel、Intel ロゴ、Intel Inside、Intel Inside ロゴ、Intel Centrino、Intel Centrino ロゴ、Celeron、Intel Xeon、Intel SpeedStep、Itanium、および Pentium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

製品資料に関するご使用条件

これらの資料は、以下のご使用条件に同意していただける場合に限りご使用いただけます。

適用範囲

IBM Web サイトの「ご利用条件」に加えて、以下のご使用条件が適用されます。

個人使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、非商業的な個人による使用目的に限り複製することができます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずに、これらの資料またはその一部について、二次的著作物を作成したり、配布 (頒布、送信を含む) または表示 (上映を含む) することはできません。

商用使用

これらの資料は、すべての著作権表示その他の所有権表示をしていただくことを条件に、お客様の企業内に限り、複製、配布、および表示することがで

きます。ただし、IBM の明示的な承諾をえずにこれらの資料の二次的著作物を作成したり、お客様の企業外で資料またはその一部を複製、配布、または表示することはできません。

権利 ここで明示的に許可されているもの以外に、資料や資料内に含まれる情報、データ、ソフトウェア、またはその他の知的所有権に対するいかなる許可、ライセンス、または権利を明示的にも黙示的にも付与するものではありません。

資料の使用が IBM の利益を損なうと判断された場合や、上記の条件が適切に守られていないと判断された場合、IBM はいつでも自らの判断により、ここで与えた許可を撤回できるものとさせていただきます。

お客様がこの情報をダウンロード、輸出、または再輸出する際には、米国のすべての輸出入関連法規を含む、すべての関連法規を遵守するものとします。

IBM これらの資料の内容についていかなる保証もしません。これらの資料は、特定物として現存するままの状態提供され、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任なしで提供されます。

IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項をご確認ください。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（メイン・インターフェース）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの Cookie および持続的な Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（データ・インターフェース）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、認証、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名またはその他の個人情報を、セッションごとの Cookie を使用して収集する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICSplex SM Web ユーザー・インターフェース（「Hello World」ページ）の場合： このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、個人情報を収集しないセッションごとの Cookie を使用する場合があります。これらの Cookie を無効にすることはできません。

CICS Explorer® の場合:

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッション管理、お客様の利便性の向上、または利用の追跡または機能上の目的のために、それぞれのお客様のユーザー名、およびその他の個人情報を、セッションごとの設定および持続的な設定を使用して収集する場合があります。これらの設定を無効にすることはできませんが、ユーザー・パスワードの暗号化形式でのディスクへの保管は、サインオン中にチェック・ボックスにチェック・マークを付けることによるユーザーの明示的な操作によってのみ有効化することができます。

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含む様々なテクノロジーの使用の詳細については、『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』(<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』(<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

「アクティブ・モニターの仕様」ビュー
一般 (POLMON) 3
「一時記憶域のモニター・データ」ビュー
一般 (MTSQGBL) 35, 42

[カ行]

「間接一時データ・キューのモニター・データ」ビュー
一般 (MINDTDQ) 60
「管理対象データ・テーブルのモニター・データ」ビュー
一般 (MCMDDT) 21
「区画外一時データ・キューのモニター・データ」ビュー
一般 (MXTRATDQ) 63
「区画内一時データ・キューのモニター・データ」ビュー
一般 (MNTRATDQ) 61
一般 (MTDQGBL) 33

[サ行]

「ジャーナルのモニター・データ」ビュー
一般 (MJRNLNAM) 39
総称名 1

[タ行]

「端末のモニター・データ」ビュー
一般 (MTERMNL) 45
「トランザクション・クラスのモニター・データ」ビュー
一般 (MTRANCLS) 11

[ハ行]

「プログラムのモニター・データ」ビュー
一般 (MPROGRAM) 40

[マ行]

モニター・データ
タイプ 1

[ラ行]

リソースのモニター
説明 1
リソース・モニター
説明 1
「リモート一時データ・キューのモニター・データ」ビュー
一般 (MREMTDQ) 62
「リモート・トランザクションのモニター・データ」ビュー
一般 (MREMTRAN) 59
「リモート・ファイルのモニター・データ」ビュー
一般 (MREMFIL) 27
「ローカルまたは動的トランザクションのモニター・データ」ビュー
一般 (MLOCTRAN) 47
「ローカル・ファイルのモニター・データ」ビュー
一般 (MLOCFIL) 25

C

「CICS 領域のモニター・データ」ビュー
一般 (MCICSRGN) 7

D

「DB2 スレッドのモニター・データ」ビュー
一般 (MDB2THRD) 17
「DSA のモニター・データ」ビュー
一般 (MCICSDSA) 4

F

「FEPI 接続のモニター・データ」ビュー
一般 (MFEPICON) 20

I

「ISC/MRO 接続のモニター・データ」ビュー
一般 (MCONNECT) 13

L

「LSR プールのモニター・データ」ビュー
一般 (MLSRPOOL) 30
「LSR プール・バッファのモニター・データ」ビュー
一般 (MLSRPBUF) 29
「LU 6.2 モード名のモニター・データ」ビュー
一般 (MMODNAME) 16

M

MAS ヒストリー・ビュー
一般 (MASHIST) 65
MASHIST ビュー 65
MCICSDSA ビュー 4
MCICSRGN ビュー 7
MCMDDT ビュー 21
MCONNECT ビュー 13
MDB2THRD ビュー 17
MFEPICON ビュー 20
MINDTDQ ビュー 60
MJRNLNAM ビュー 39
MLOCFIL ビュー 25
MLOCTRAN ビュー 47
MLSRPBUF ビュー 29
MLSRPOOL ビュー 30
MMODNAME ビュー 16
MNTRATDQ ビュー 61
MONITOR ビュー
説明 1
MPROGRAM ビュー 40
MREMFIL ビュー 27
MREMTDQ ビュー 62
MREMTRAN ビュー 59
MTDQGBL ビュー 33
MTERMNL ビュー 45
MTRANCLS ビュー 11
MTSQGBL ビュー 35, 42
MXTRATDQ ビュー 63

P

POLMON ビュー 3

W

Web ユーザー・インターフェース v

